

～ 資 料 編 ～

目 次

1. 喜多方市商業振興ビジョン策定アンケート調査結果 1
2. 喜多方市商業振興ビジョン策定アンケート調査票 27
3. 策定に係る組織体制 40
4. 策定の経過 41
5. 策定検討会議設置要綱 42

1. 喜多方市商業振興ビジョン策定アンケート調査結果

1 アンケート調査概要

(1) 調査目的

市内商業の現状を消費者・商業者両方の視点から把握するとともに、これからの市内商業のあり方や、商業振興施策の方向性について意見を集約した。

(2) 調査対象

ア 市民 1,200名

※市民は住民基本台帳より無作為抽出、

イ 商業者 755名

商業者は会津喜多方商工会議所およびきたかた商工会の会員のうち、商業関係部会の会員を対象とした。

計 1,955名

(3) 回答率

	市民	商業者	合計
発送数	1,197	749	1,946
回答数	467	218	685
回収率	39.0%	29.1%	35.2%

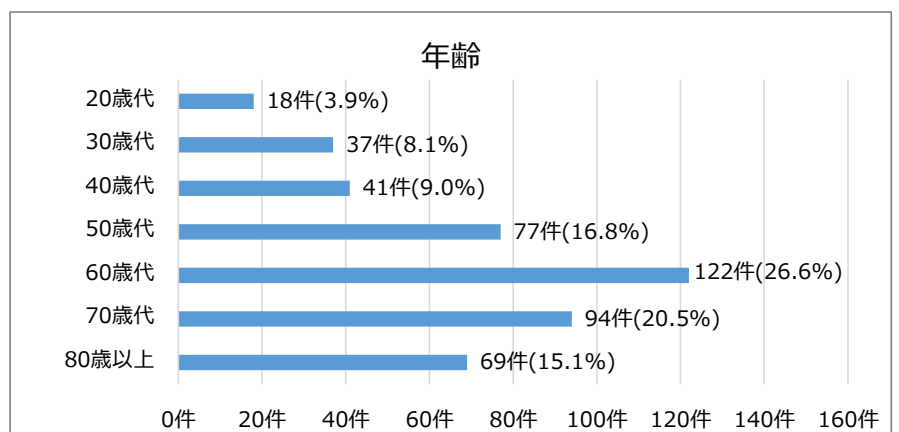
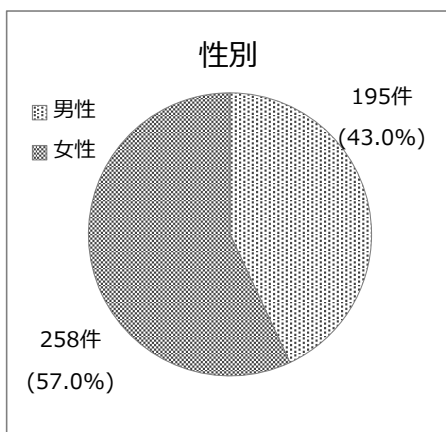
※市民3件、商業者6件、宛先人不明で返送

2 アンケート調査結果

(1) 市民向けアンケート

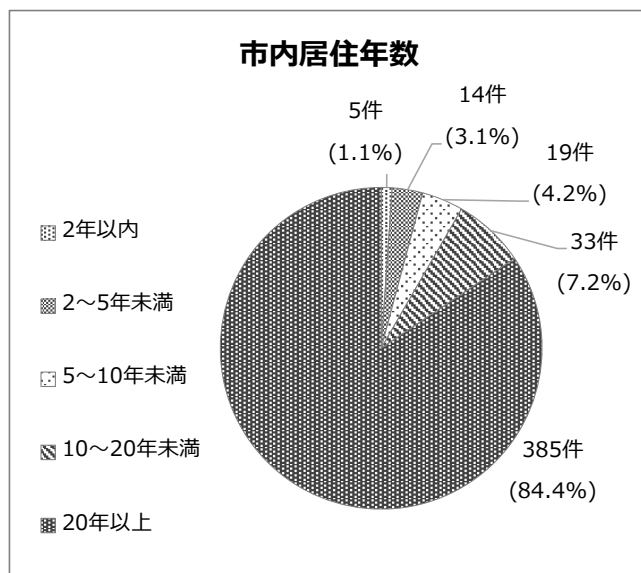
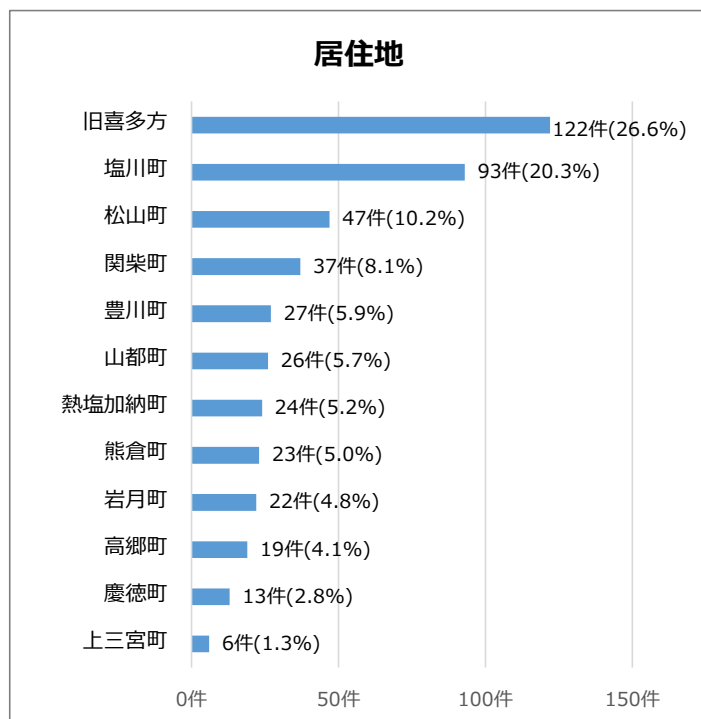
ア 回答者の性別及び年齢

「女性」の回答が57.0%とやや多くなっている。「60歳代」、「70歳代」の回答がそれぞれ20%以上となっており、「60歳代」の回答が26.6%と最も多く、「20歳代」が3.9%と最も少なくなっている。



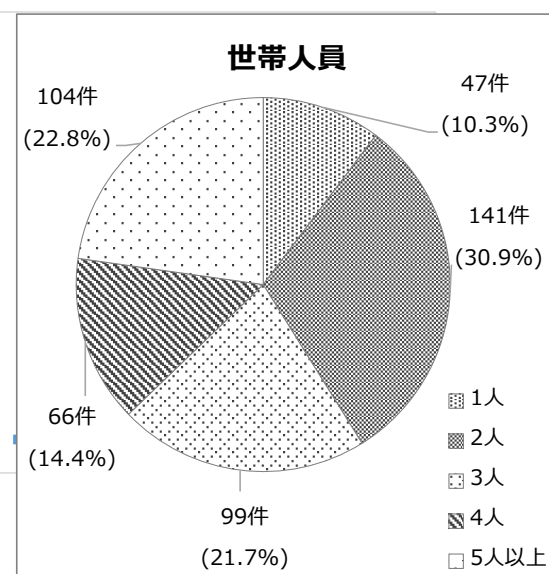
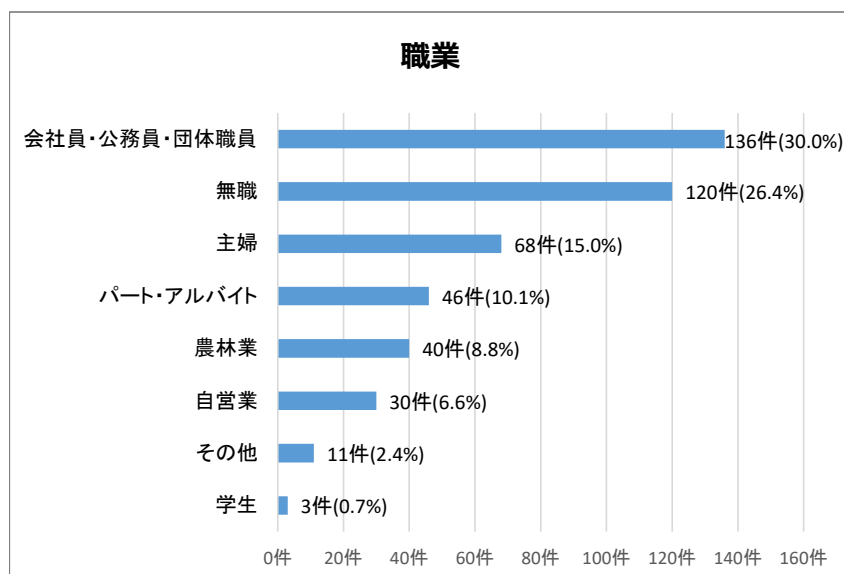
イ 回答者の居住地及び居住年数

居住地については、「旧喜多方市(旧喜多方、松山町、関柴町、豊川町、熊倉町、岩月町、慶徳町、上三宮町)」が64.7%、「塩川町」が20.3%、「熱塩加納町」が5.2%、「山都町」が5.7%、「高郷町」が4.1%となっている。居住年数については、「20年以上」市内に居住している市民からの回答が8割以上を占めていて、居住年数が長いほど回答率が多くなっている。



ウ 職業及び世帯人数

「会社員・公務員・団体職員」からの回答が30.0%と最も多く、次いで「無職」、「主婦」となっている。世帯人員については、「2人世帯」が30.9%で、前回のアンケート結果より12%上回った一方で、「5人以上」が前回31%に対し、今回は22.8%と大きく下回っている。



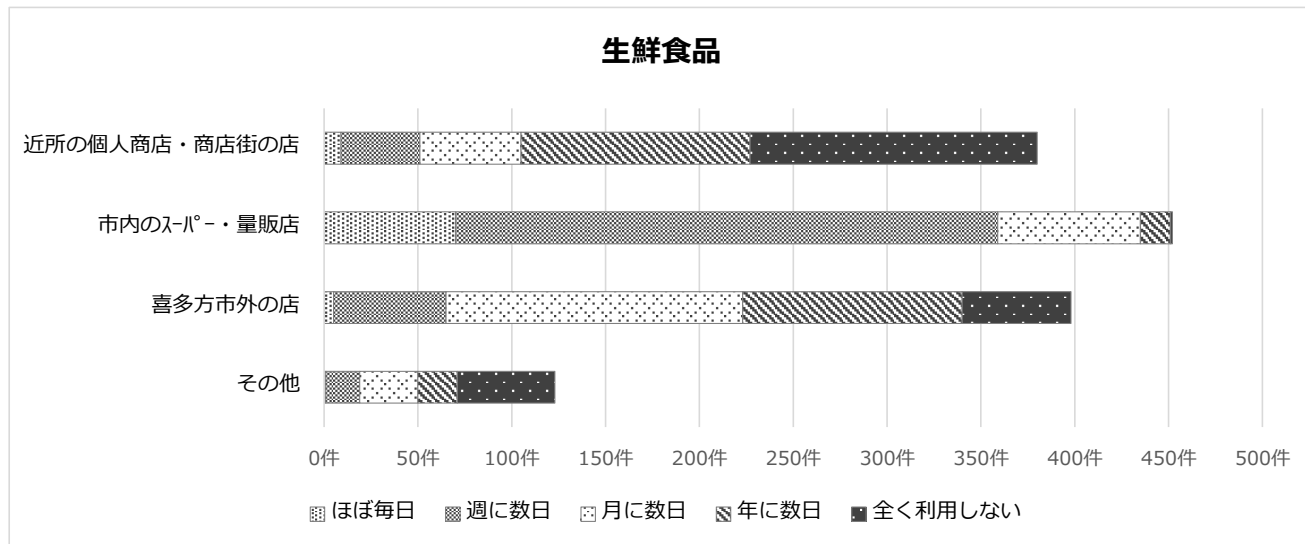
エ 買い物動向（利用頻度）

【生鮮食品（野菜、果物、肉、魚）】

週に数日の傾向が大きく、特に「市内のスーパー・量販店」の利用が目立つ。

「喜多方市外の店」についても月に数日、年に数日の頻度での利用が見受けられる。

「近所の個人商店・商店街の店」については、年に数日、全く利用しないの回答が多かった。



（その他）

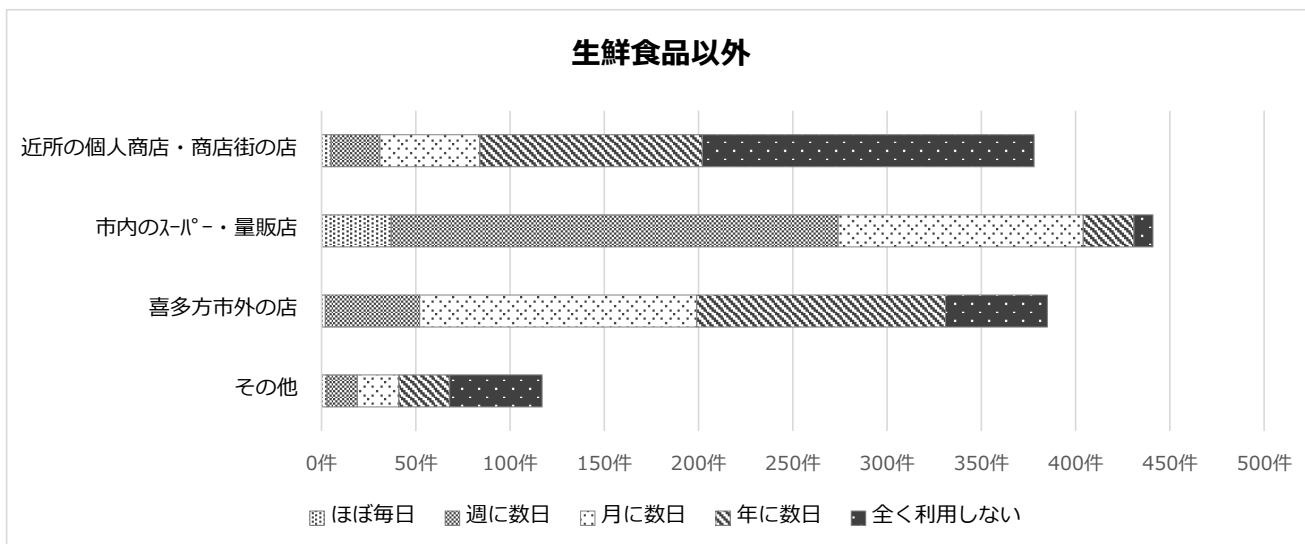
ネットショッピング、直売所、宅配、共同購入、通信販売、コンビニ、市外量販店

【生鮮食品以外の食料品】

生鮮食品と同じく、「市内のスーパー・量販店」の利用頻度が週に数日の利用が目立つ。

「喜多方市外の店」についても月に数日、年に数日の頻度での利用が見受けられる。

「近所の個人商店・商店街の店」は全く利用しないの回答が多かった。



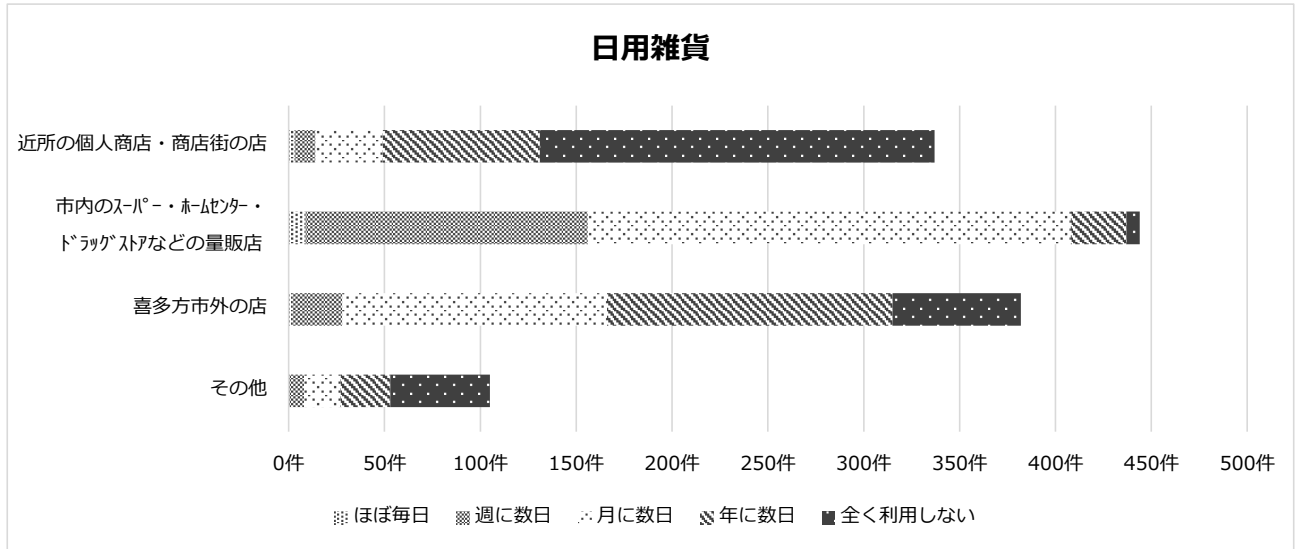
（その他）

コンビニ、ネットショッピング、宅配、共同購入、通信販売、地元の専門店、市外量販店

【日用雑貨】

月に数日、「市内の大規模店・量販店」での利用が目立ち、「近所の個人商店・商店街の店」においては、半数以上が全く利用しないと回答している。

「喜多方市外の店」においても月に数日、年に数日の頻度で利用が見受けられる。

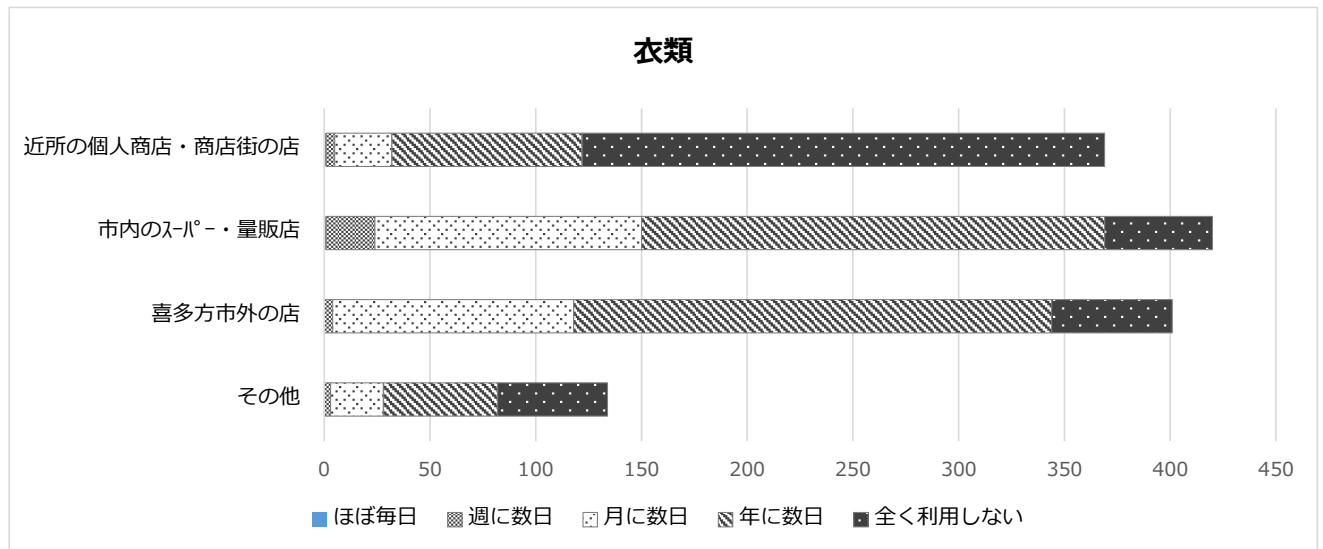


(その他)

ネットショッピング、通信販売、コンビニ、宅配、共同購入、市外量販店

【衣類】

年に数日、「市内のスーパー・量販店」及び「喜多方市外の店」の利用が目立ち、「近所の個人商店・商店街の店」については、約7割が全く利用しないという結果になった。

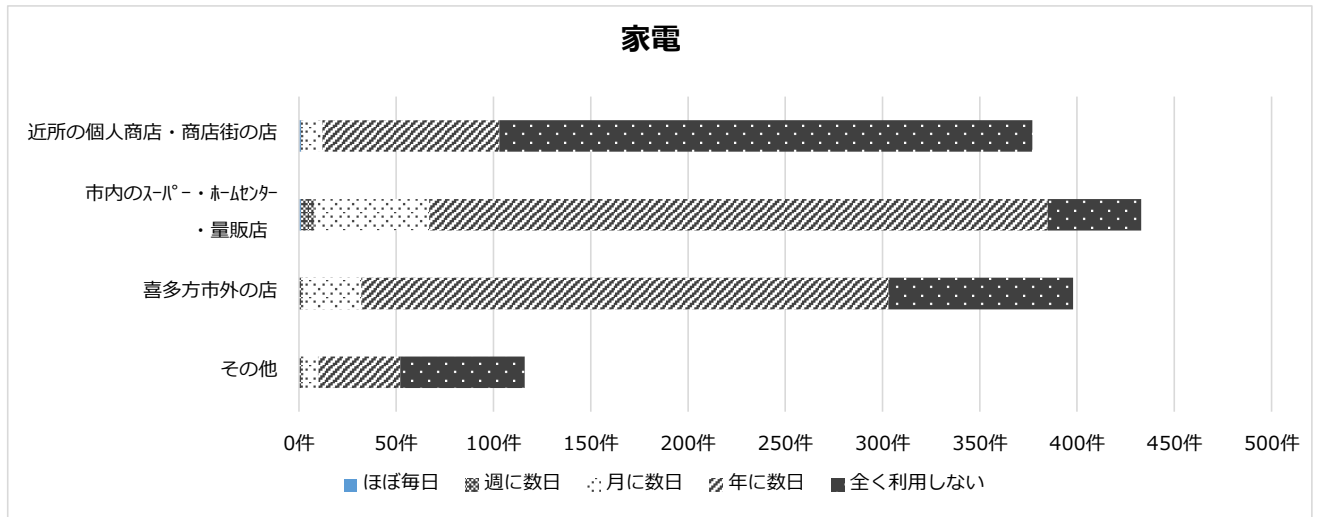


(その他)

ネットショッピング、通販、市外量販店

【家電】

年に数日、「市内のスーパー・ホームセンター・量販店」及び「喜多方市外の店」の利用が目立ち、「近所の個人商店・商店街の店」については、7割以上が全く利用しないという結果になった。

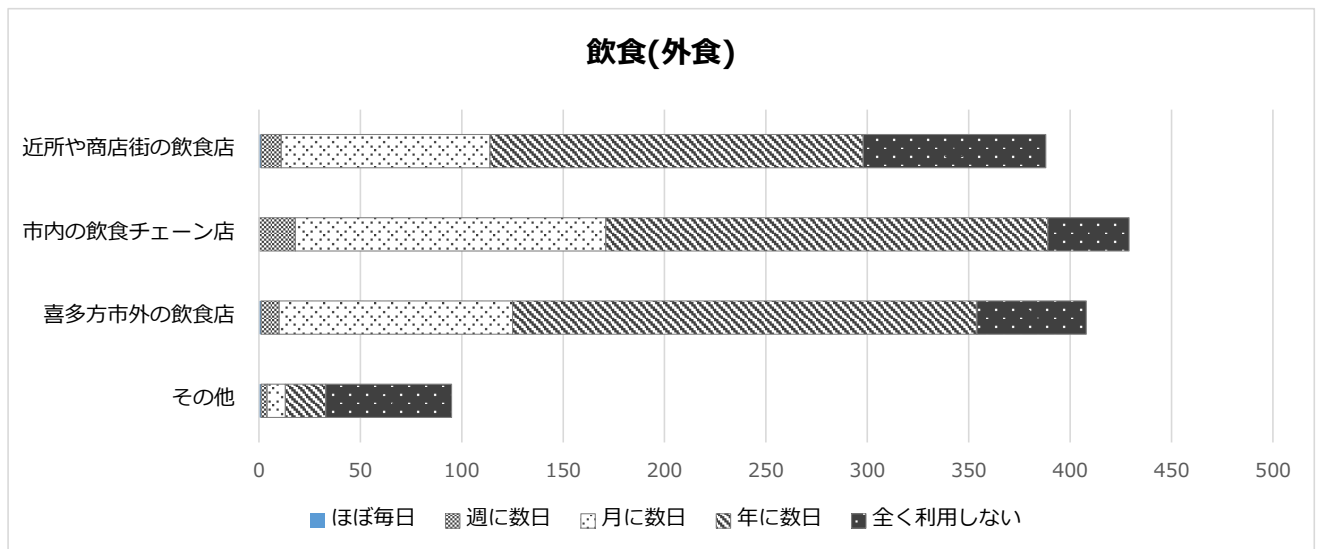


(その他)

ネットショッピング、通販、市外量販店

【飲食(外食)】

年に数日の利用が目立ち、「近所や商店街の飲食店」、「市内の飲食チェーン店」、「喜多方市外の飲食店」ともに、5割程度が利用している結果になった。

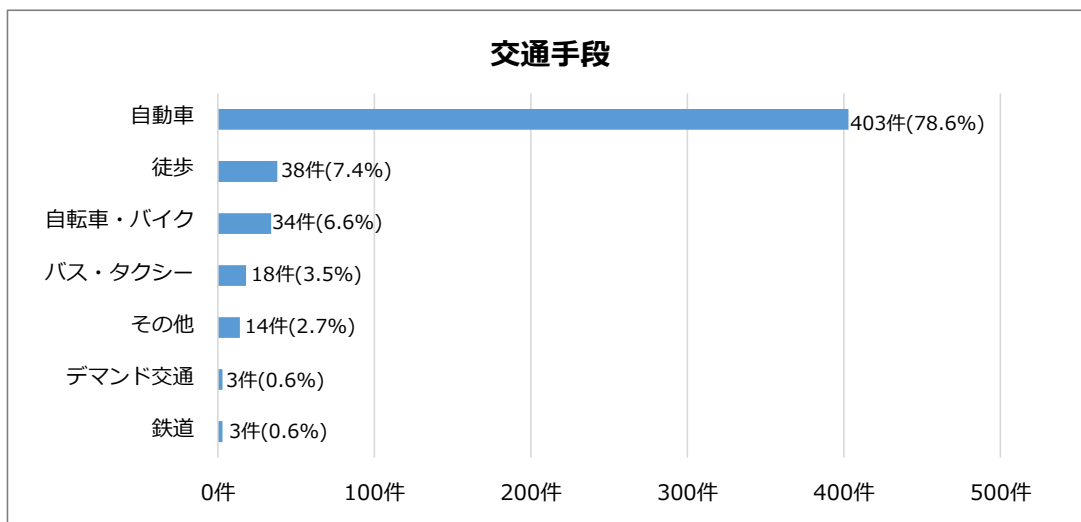


(その他)

温泉、旅行、他外出先において

オ 交通手段

買い物の際の交通手段については、「自動車」が8割近くを占めており、公共交通機関の利用は5%程度にとどまっている。



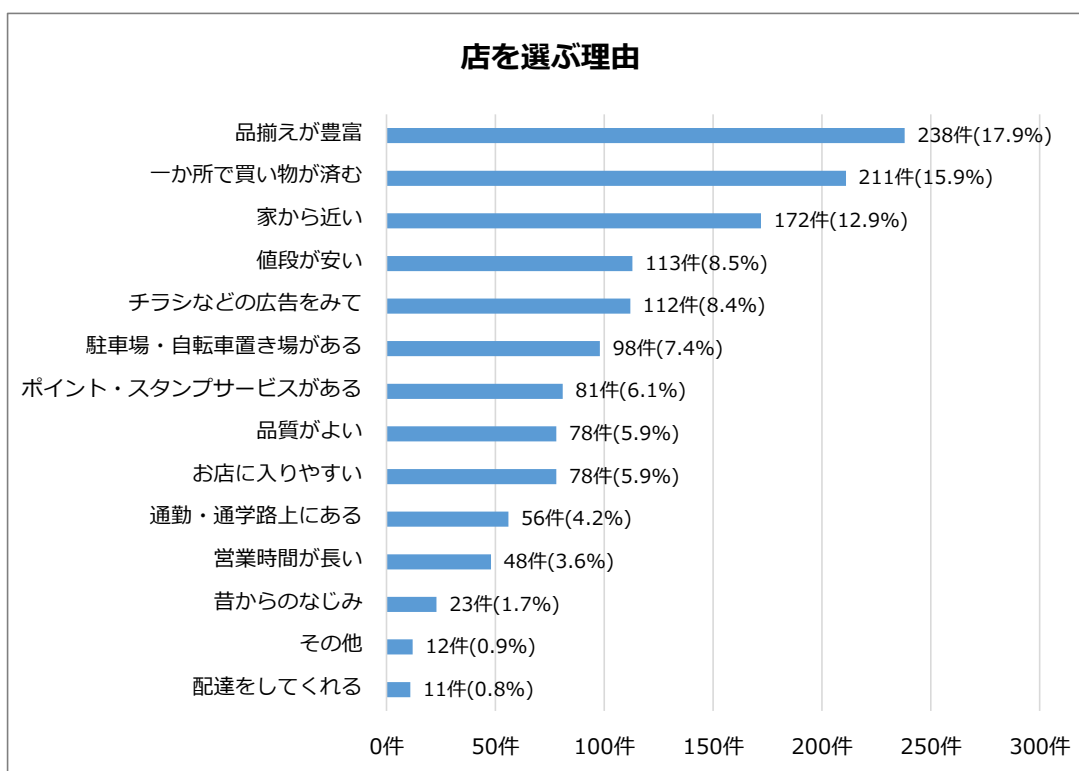
(その他)

家族や知人の車にのせてもらう

カ 店を選ぶ理由 ※複数回答

「品揃えが豊富」、「一か所で買い物が済む」、「家から近い」などの理由が多く、利便性や店の質を重視している傾向にある。

また、「値段が安い」「チラシなどの広告を見て」といった意見から、暮らしやすい価格帯で選んでいるようにも思われる。前回のアンケート結果より「駐車場・自転車置き場がある」が「ポイント・スタンプサービス」を上回り、駐車・駐輪スペースの必要性も重視されている。

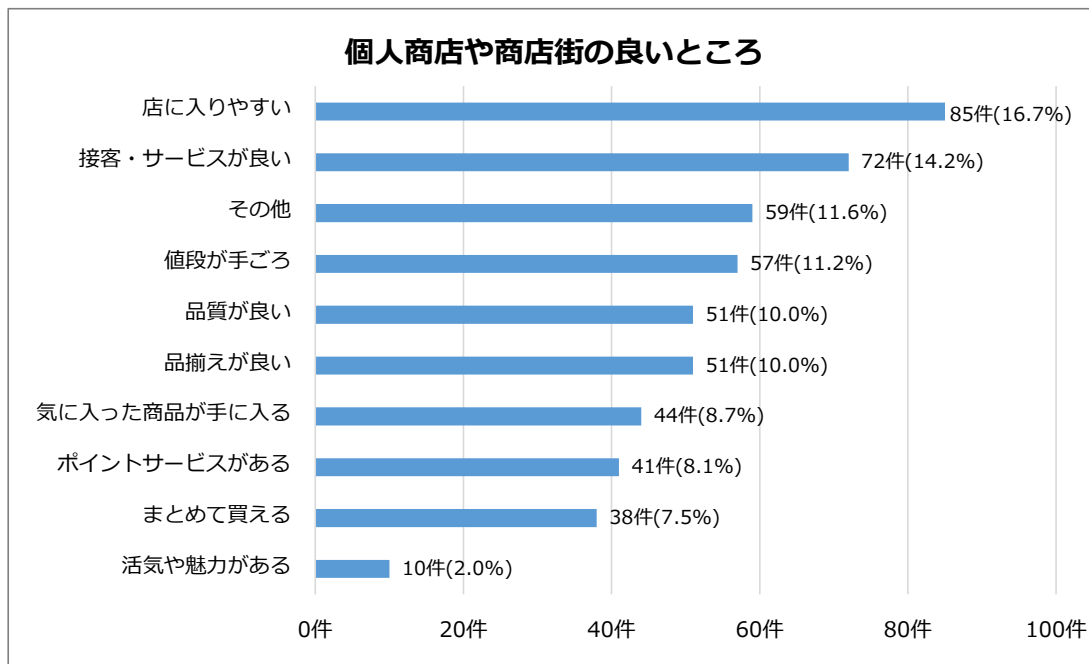


キ 個人商店や商店街について感じていること

※複数回答

【個人商店や商店街の良いところ】

「店に入りやすい」、「接客・サービスが良い」との回答が多く、接遇によりサービスを感じている。
また、前回のアンケート結果で「その他」が5%だったのに対し、今回は11.6%とかなり多くなっている。



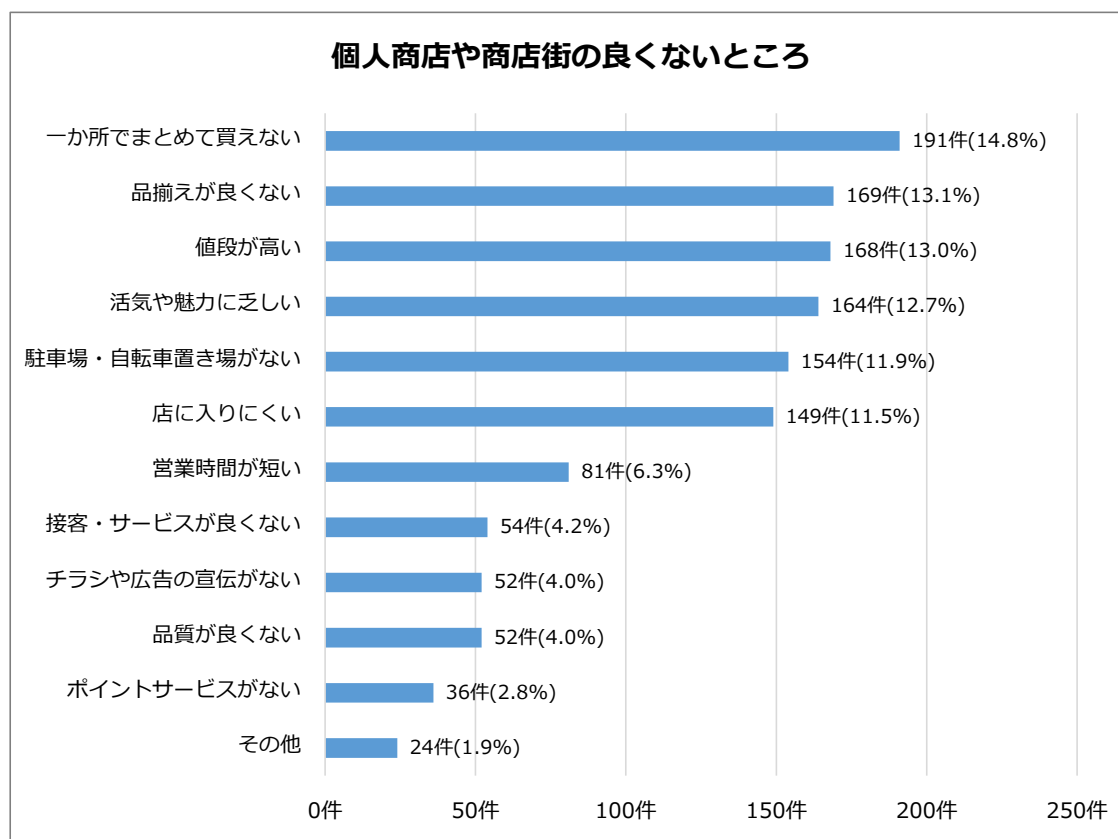
(その他)

顔見知りになる、取り寄せてくれる（サイズがない時）、いつでも対応してくれる、スーパーにないものや地元のもので購入できる

【個人商店や商店街の良くないところ】 ※複数回答

「一か所でまとめて買えない」、「品揃えが良くない」、「値段が高い」など、利便性の低さや品揃え、値段について満足度が低いことが伺える。

「活気や魅力に乏しい」、「店に入りにくい」など、人を引き寄せる雰囲気作りが大切だと感じる。「駐車場・自転車置き場がない」の回答も多く、駐車・駐輪スペースの必要性も重視されている。



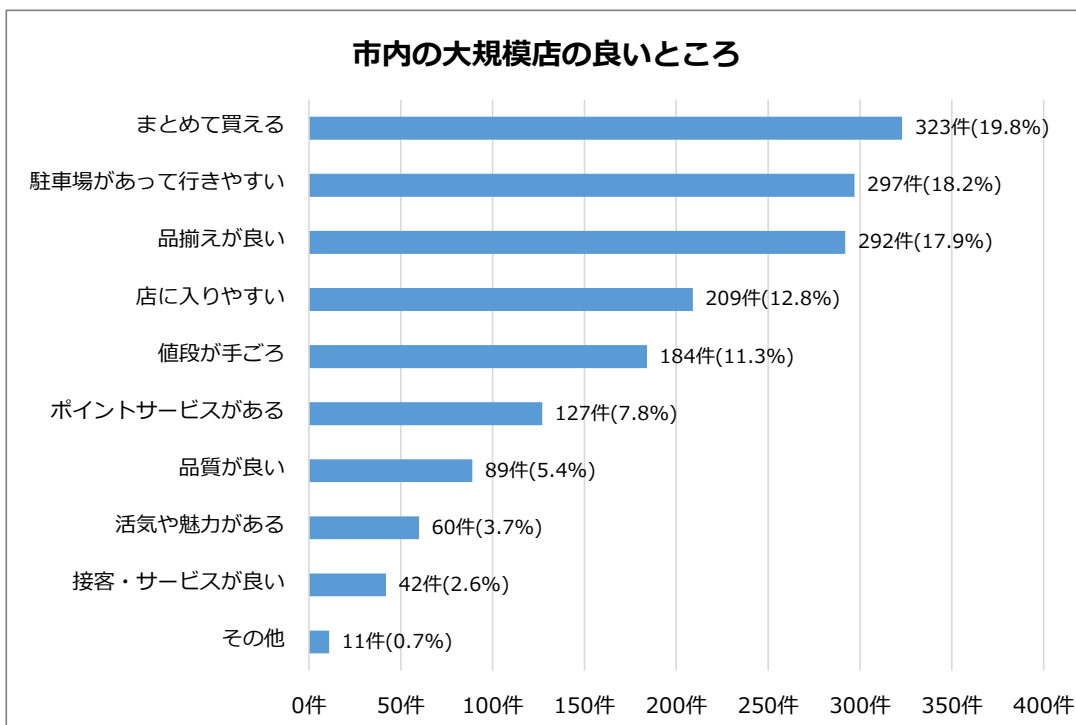
(その他)

買いたいと思う店がない、品揃えが少ない、近所に無い、入りにくい、殿様商売、開店30分早くしてほしい、営業日時がわかりづらい、ほこり等清掃状況、入店すると必ず買わなければならないような感じ、行きつけの店がやめてしまった、世間話・うわさ話がこわくて入れない、お店の開け閉めがないので空気がよどんでいる感じがする、商品が死んで見える、魅力あるセールポイントの発信が弱くあったとしても継続性に欠け全体の盛り上がりが薄い

ク 市内の大規模店について感じていること

【市内の大規模店の良いところ】 ※複数回答

「まとめて買える」、「駐車場があって行きやすい」、「品揃えが良い」、「店に入りやすい」、「値段が手ごろ」などの回答が多く、大規模店ならではの利便性や価格帯に好感を抱いていることが伺える。

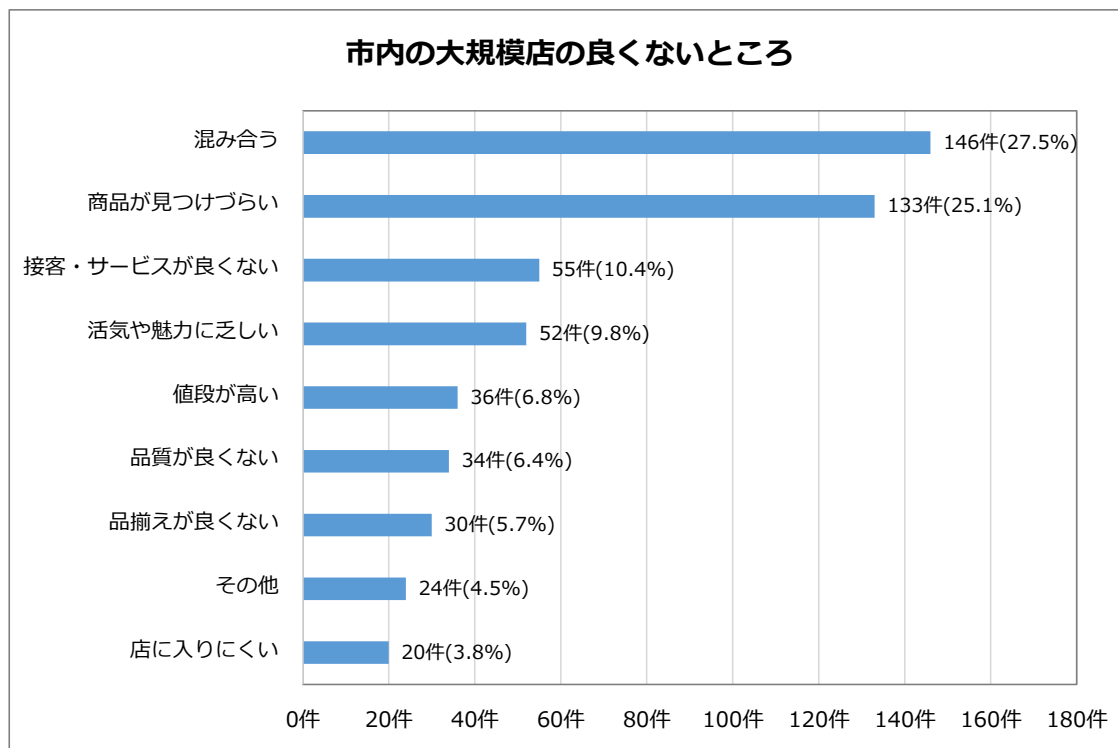


(その他)

営業時間、気ままに買い物ができる、地元産のもの取り扱いが豊富

【市内の大規模店の良くないところ】 ※複数回答

「混み合う」、「商品が探しづらい」との回答が多く、多くの来客があり、豊富な品揃えがある大規模店ならではのデメリットに不満を抱いていることが伺える。



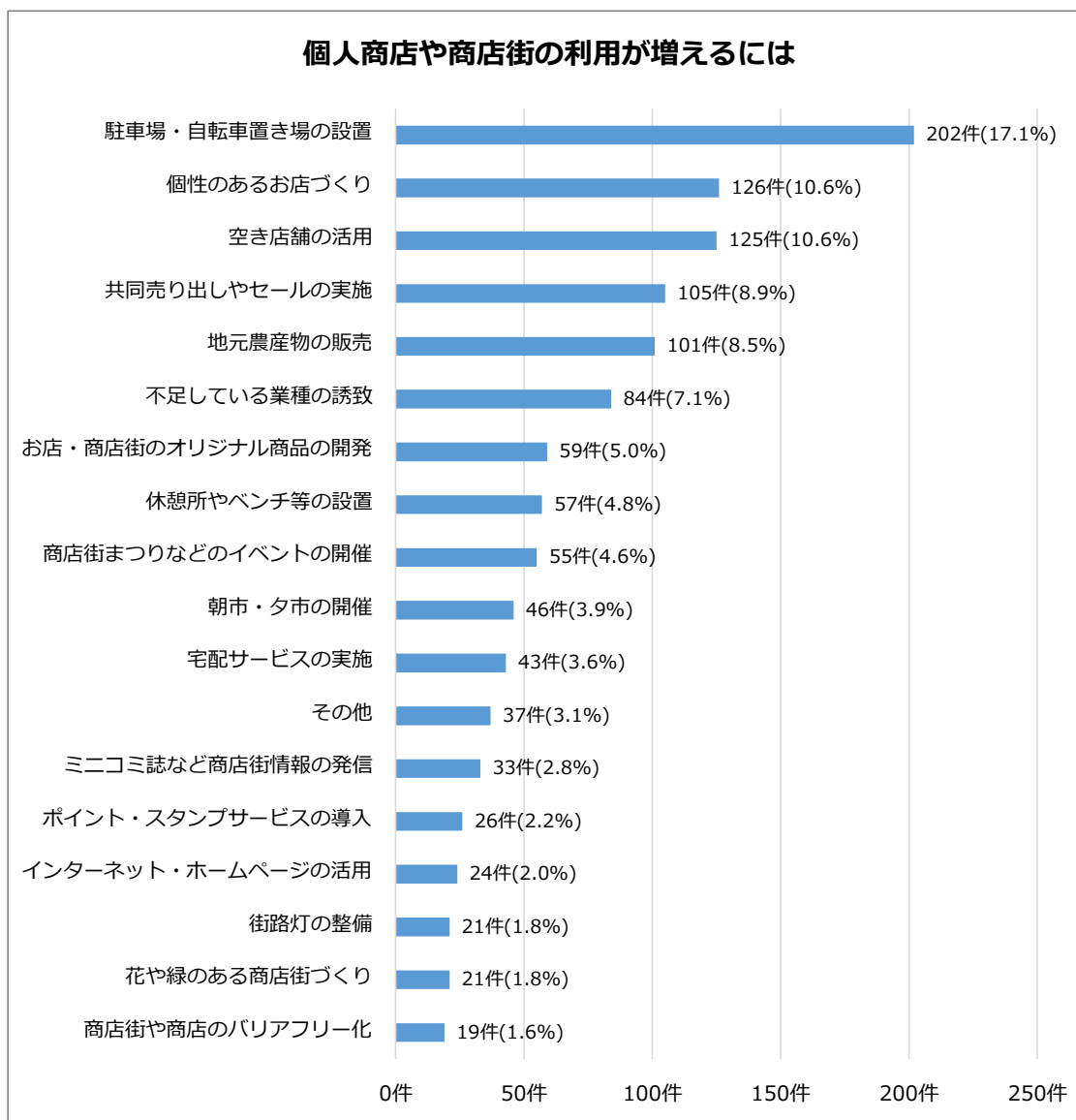
(その他)

家から遠い、駐車場が狭い、交通機関がないと行けない、レジで混みあっている、冷たい、陳列棚の清潔さがない、なじみの客になれない、差別化されておらずどこも似通っているところとオーガニックの商品が少ない、商品を見つけるのも買い物の楽しみ方の一つでもあるが接客マナーなどはもう少し洗練されていた方が良いと感じる、パートさんに一夜漬けの様な教育では時には気分を害する時もある。

ケ 個人商店や商店街の利用が増えるためには

※複数回答

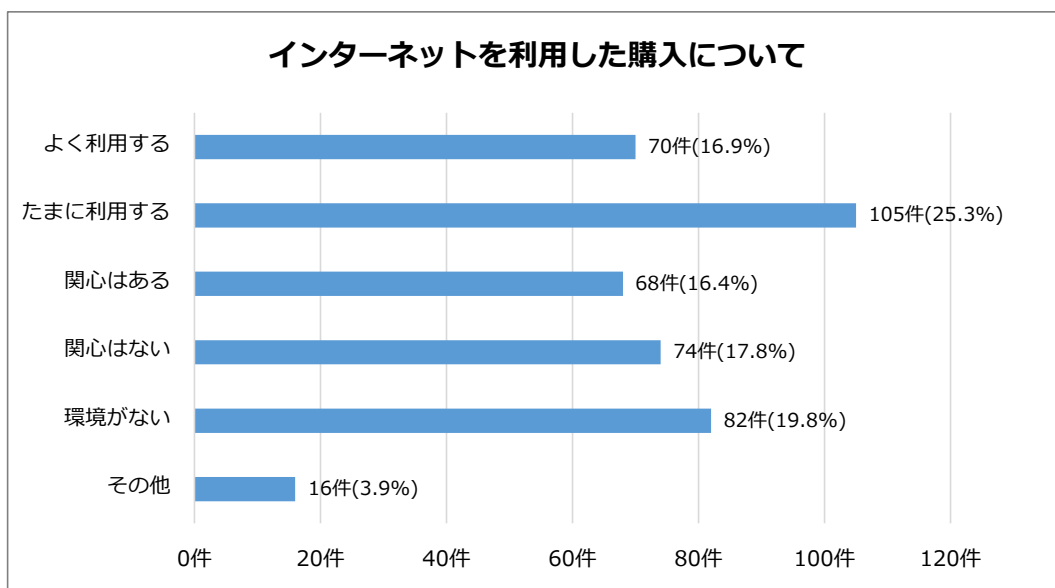
「駐車場・自転車置き場の設置」、「個性あるお店づくり」、「空き店舗の活用」との回答が多く、利便性や大規模店にはない魅力あるお店を期待していることが伺える。



コ インターネットを利用した購入について

全体で見ると、「よく利用する」、「たまに利用する」が42.2%、「関心はある」が16.4%、「関心はない」、「環境がない」が37.6%という結果になった。

年代別で見ると、若年層はインターネットの利用が多く、年代が上がるにつれ利用が少なくなっている。



インターネットを利用して購入している主な購入品目

衣類、食料品、日用雑貨、家電製品、本・CD、健康食品、贈答品

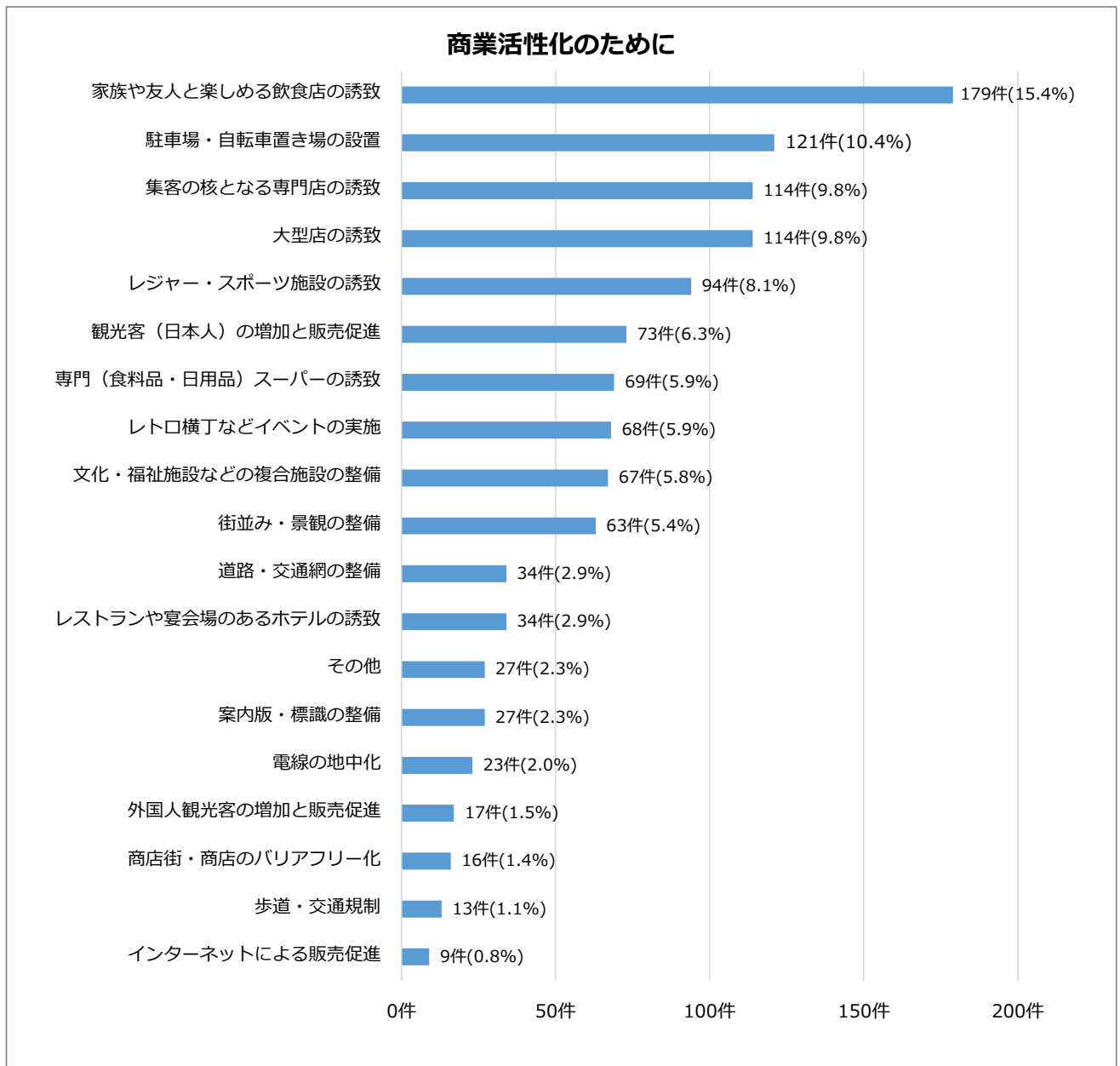
(その他)

利用しないのでわからない、通販で買う、現金だけ、インターネットを利用しているができるだけ地元のお店で購入するようにしている、品物は出来るだけ手に取って見て購入したいのでよほどの物でない限り購入しない

サ 喜多方市の商業活性化のための取り組みについて ※複数回答

「家族や友人と楽しめる飲食店の誘致」、「大型店の誘致」、「レジャー・スポーツ施設の誘致」など、現在、市内に不足している施設が必要との回答が多くあった。

また、「駐車場・自転車置き場の設置」の回答も多く、利便性の向上も必要と考えられる。



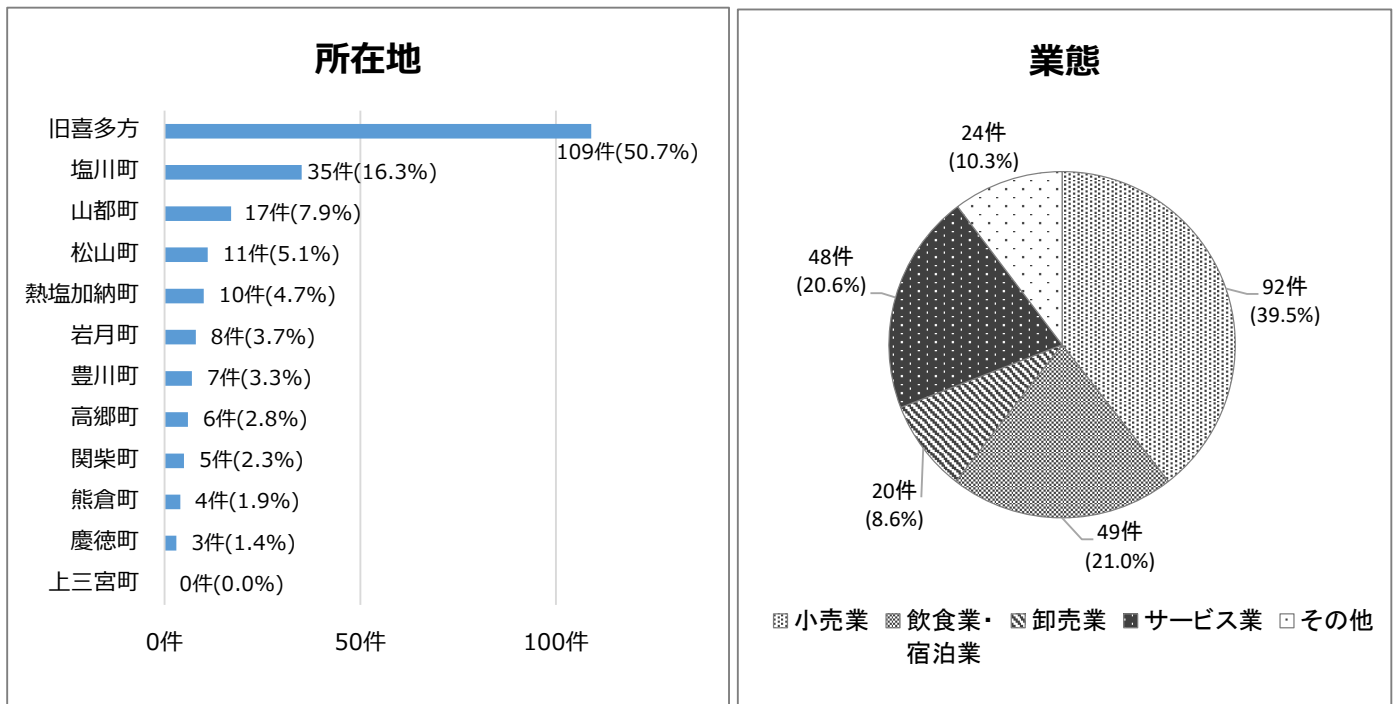
市民向けアンケート 自由記述より

- ・市としてのコンセプトを明確に
- ・喜多方の商業振興をイメージできるキャッチフレーズがあればいいのではないか
- ・商店街に活気がほしい
- ・シャッターが閉まっている店が多い
- ・空き店舗を有効活用してほしい
- ・個人店は営業しているかどうかわからない、何を売っているかわからないような店が多く、入りづらい、商品にも魅力が感じられない
- ・若者が利用しやすい店がほしい
- ・個人店が生き残るには、「ここに来ないと買えない」ものを扱うことが必要ではないか
- ・個人店の営業時間が短い、休日なのに休みの店が多い
- ・個人店の経営者は商品を高く売る努力を（いいものは高く売れる）
- ・駐車場がない店には買い物に行かない
- ・複数の個人商店が組んで、商店街のモール化など新たな取り組みを企画してはどうか
- ・商店街の振興に向けては店主の足並みが揃っていることが大切ではないか
- ・個人商店での温かいふれあいがほしい
- ・偶数月の15日を含む3日間に開催されるぽっきり市が楽しみ
- ・小さい子供連れでも入りやすいお店があると親同士の口こみですぐ広がる
- ・転勤で来ている人にとって、個人店には興味はあっても入りにくいことが多いので、子育てステーションなどに宣伝ポスターなどがあるとよい
- ・家族や友人と遊べる施設がほしい、子どもの遊び場や管理されている公園、レジャー施設がほしい
- ・住民が日常的に利用できる食堂やカフェ（イタリアン、フレンチ）やベーカリーが増えてほしい
- ・高齢者が買い物難民にならないような計画を

(2) 商業者向けアンケート

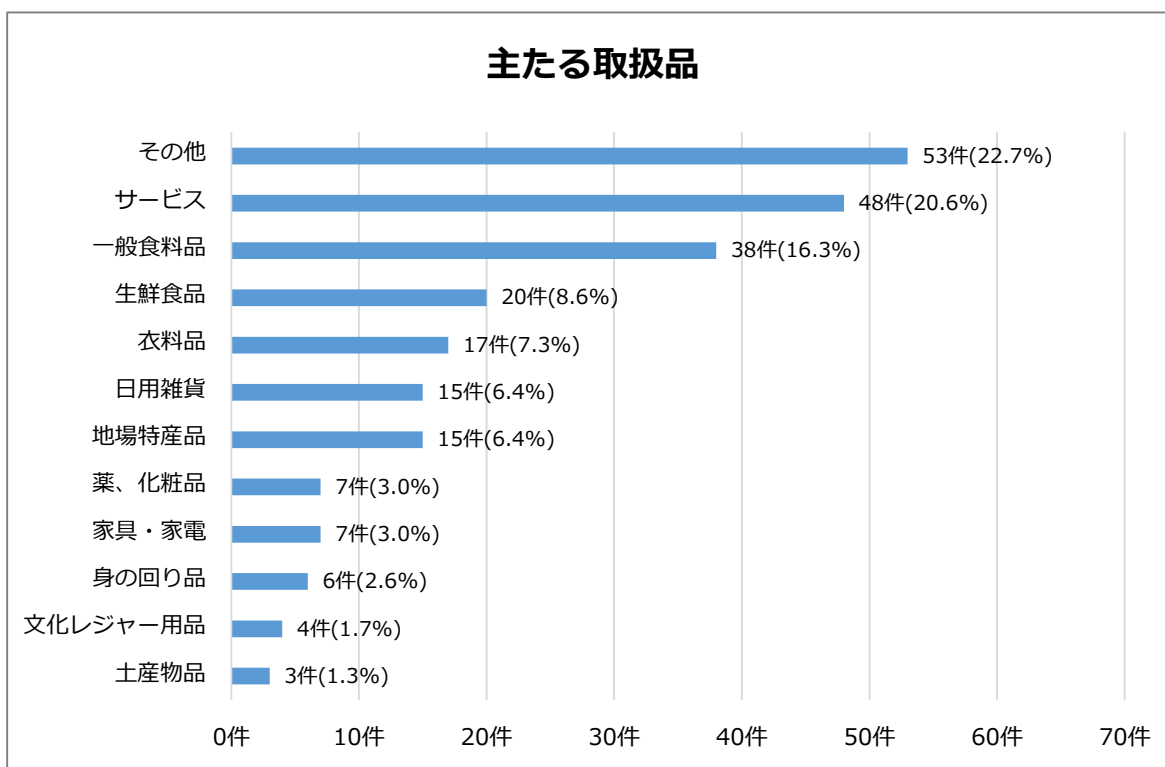
ア 回答店の所在地及び業態

「旧喜多方市(旧喜多方、松山町、岩月町、豊川町、関柴町、熊倉町、慶徳町、上三宮町)」が68.4%を占めており、「塩川町」が16.3%、「熱塩加納町」が4.7%、「山都町」が7.9%、「高郷町」が2.8%の割合となっている。また、業態については「小売業」が39.5%を占めており、次いで「飲食業・宿泊業」が21.0%、「サービス業」が20.6%、「卸売業」が8.6%の割合となっている。



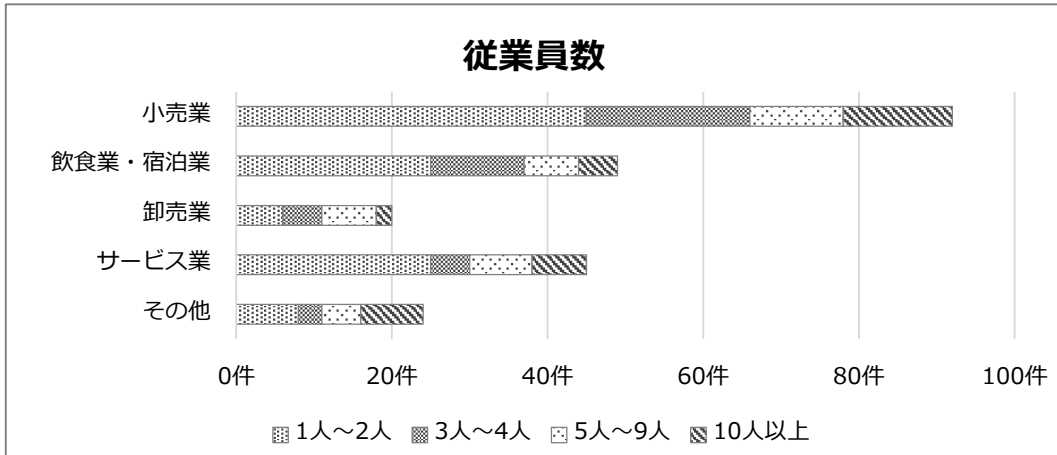
イ 主たる取扱品

「その他」が22.7%、「サービス」が20.6%、「一般食料品」が16.3%となっている。



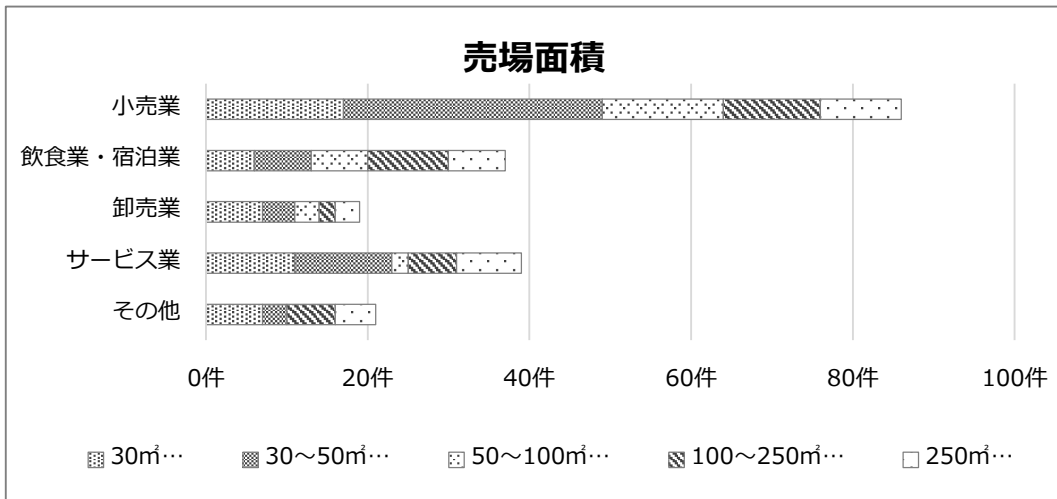
ウ 従業員数

小売業、飲食業・宿泊業、サービス業においては「1人～2人」の割合が半数を超えている。
また、全体を見ても、「1人～2人」、「3人～4人」の合計の割合が約7割となっている。



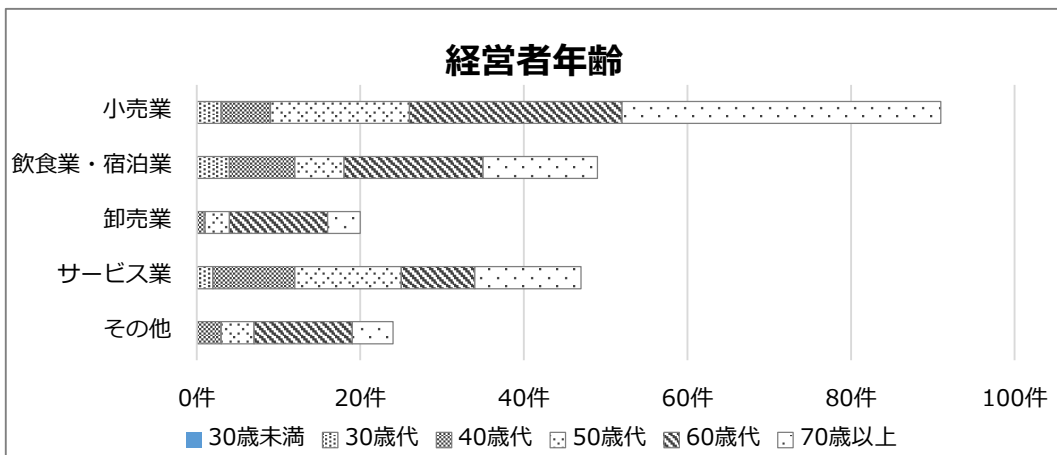
エ 売場面積

小売業の「30～50㎡未満」と、卸売業の「30㎡未満」が約4割で目立っている。
また、全体で見ると、50㎡未満の割合が5割となっている。



オ 経営者年齢

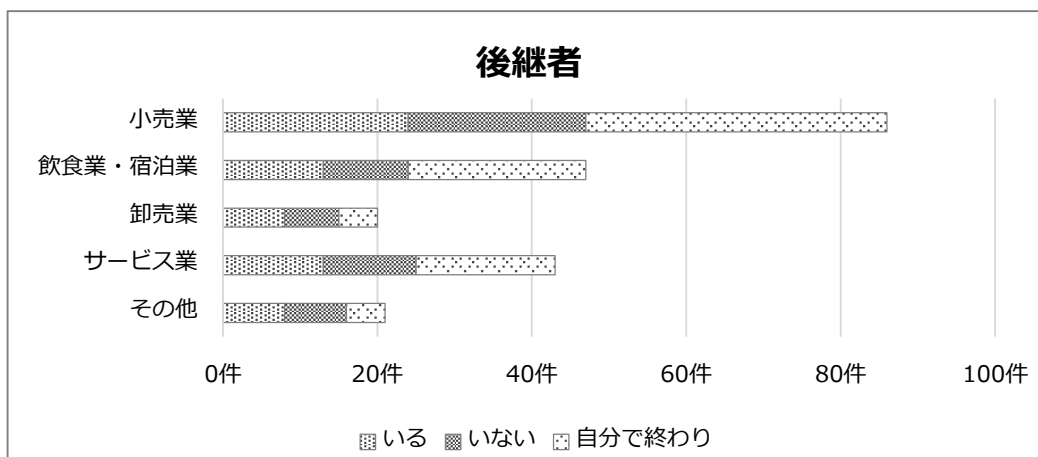
全業種において「30歳未満」の経営者がおらず、「30歳代」についても数%程度にとどまっている。
一方で、全業種において「60歳代」及び「70歳代以上」の占める割合が高く、経営者の高齢化が見受けられる。



カ 後継者

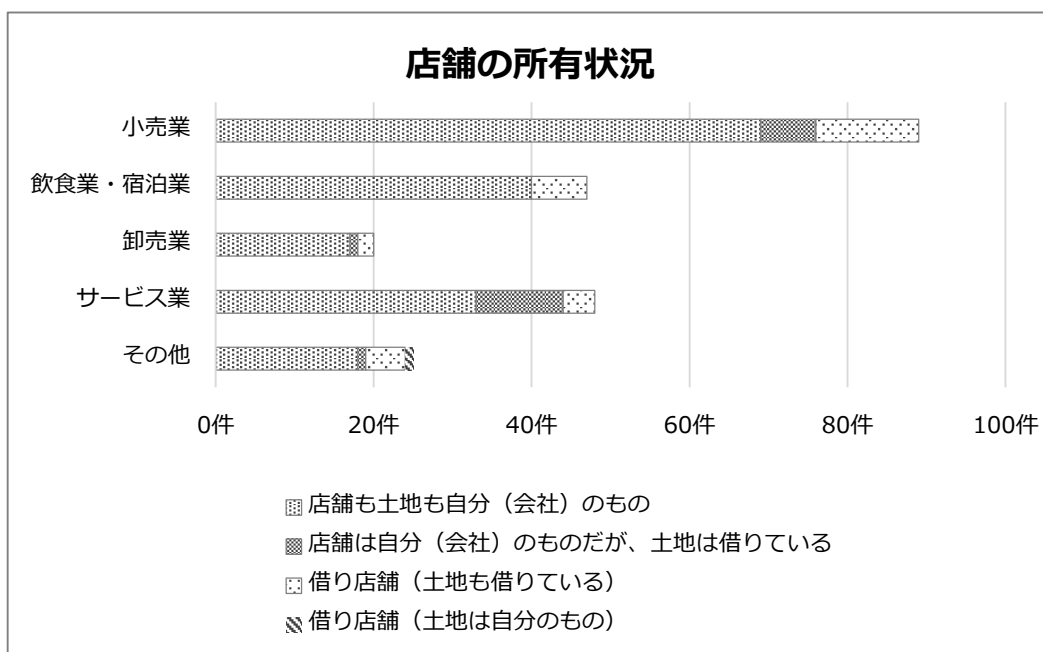
卸売業とその他を除いては、「後継者がいる」と回答した割合より「自分の代で終わり」と回答した割合が多い結果となった。

特に、小売業、飲食業・宿泊業、サービス業においては、4割以上が「自分の代で終わり」と回答しており、今後、ますます、市内商業の衰退が懸念される。



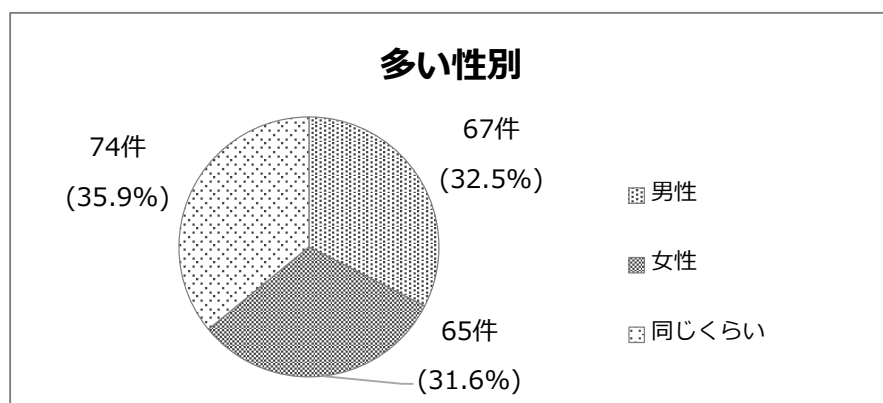
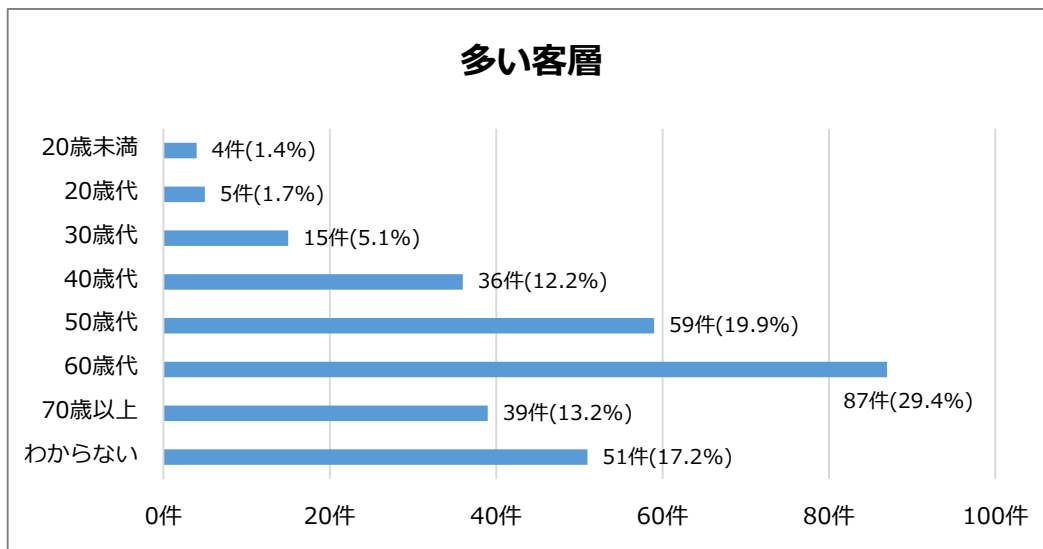
キ 店舗の所有状況

全業種において6割以上が「店舗も土地も自分(会社)のもの」と回答している。



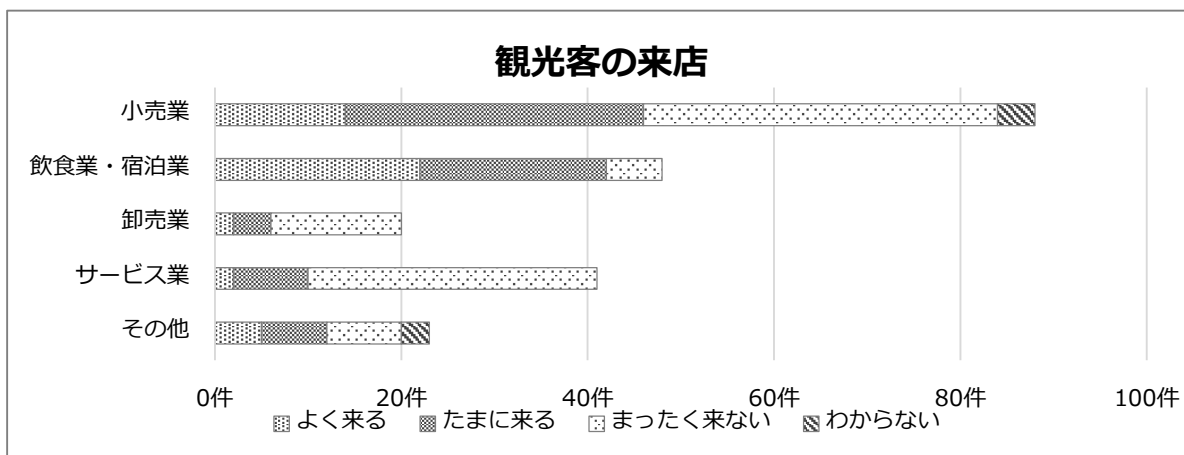
ク 来店が多い客層及び性別

「50歳代以上」が6割以上を占め、「30歳代以下」が1割程度にとどまっており、若年層の利用が少ない傾向にある。また、性別については、「男性」、「女性」がほぼ同じ割合となっており、性別によるばらつきは見られない。

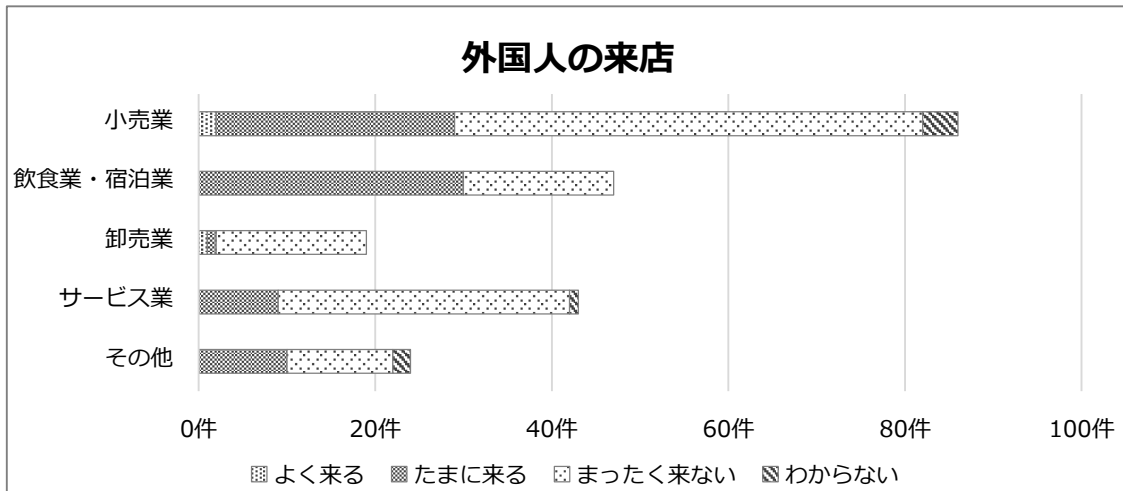


ケ 観光客の来店

飲食業・宿泊業において「よく来る」が45.8%、「たまに来る」が4割を超えており、観光客の来店が目立っている。また、卸売業、サービス業においては、「まったく来ない」が7割を超えている。



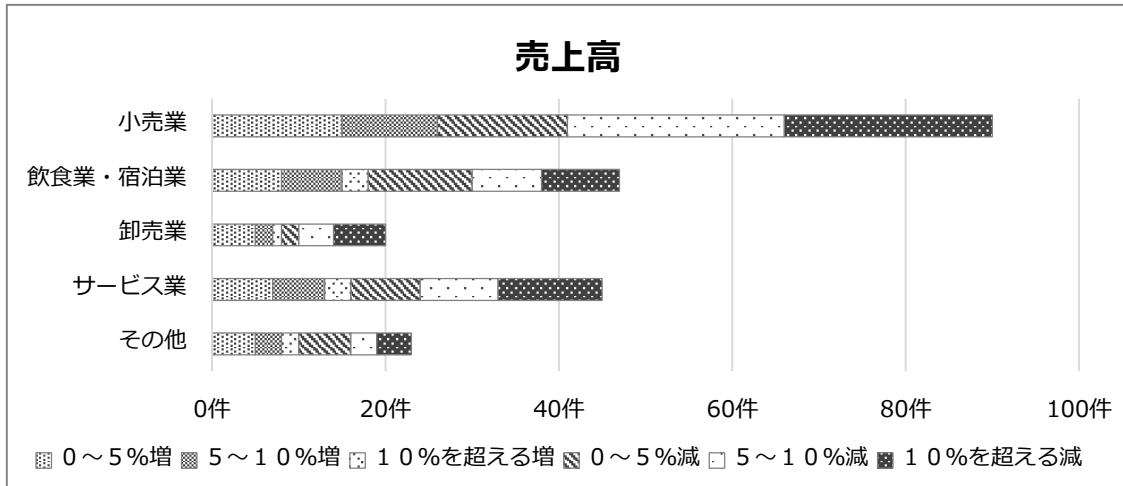
コ 外国人の来店



サ 平成30年の経営実績について(平成29年との比較)

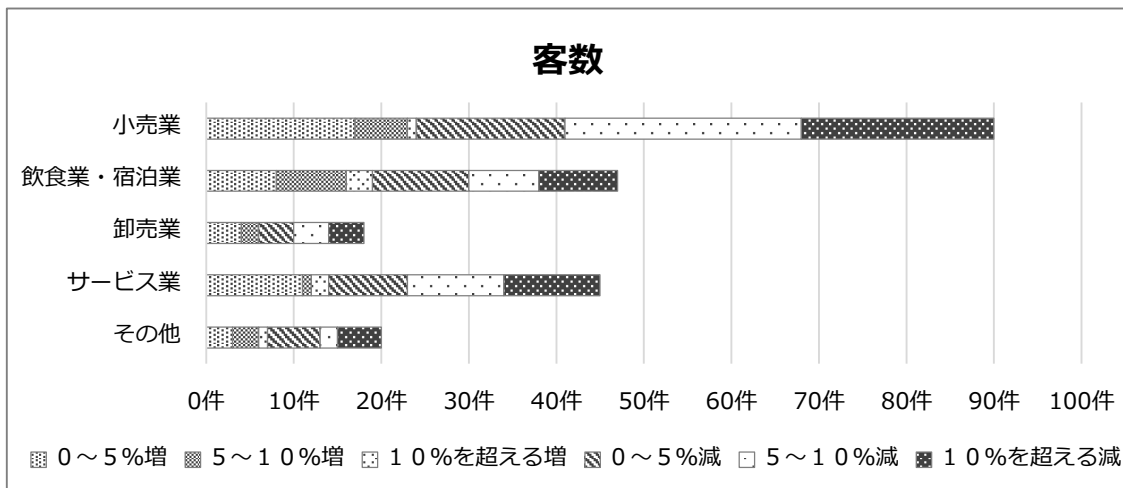
【売上高】

全業種において「減少した」との回答が過半数を超えており、特に小売業においては7割が「減少した」と回答している。



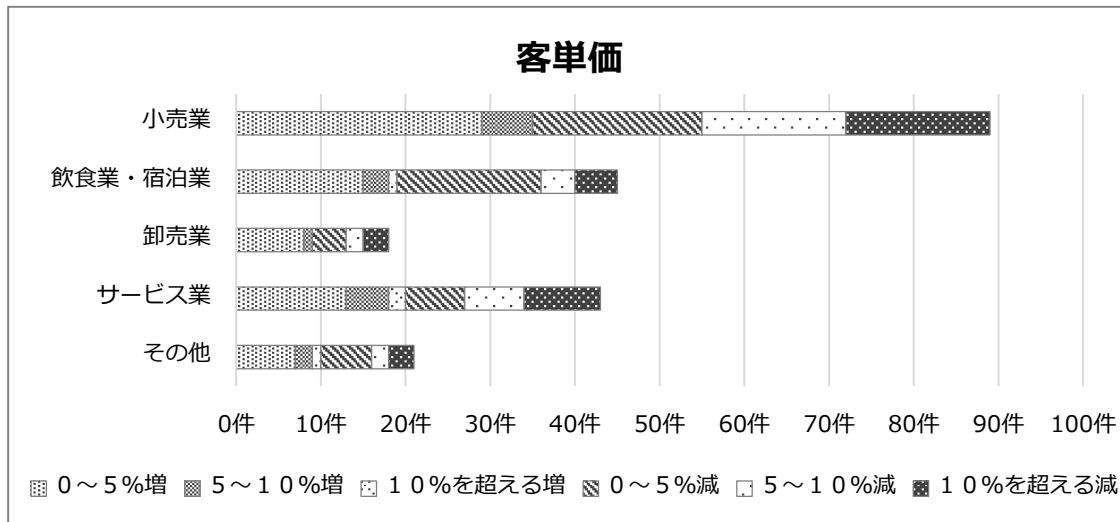
【客数】

全業種において「減少した」との回答が過半数を超えており、特に小売業においては7割が「減少した」と回答している。



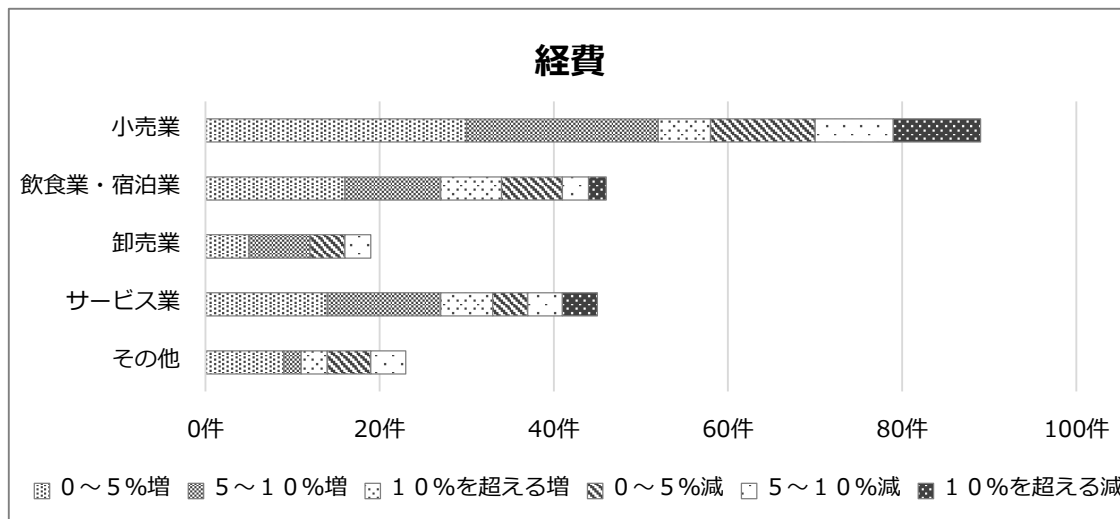
【客単価】

全業種において「0～5%増」が3割以上とわずかながらあるものの、「減少した」との回答が過半数を超えている。



【経費】

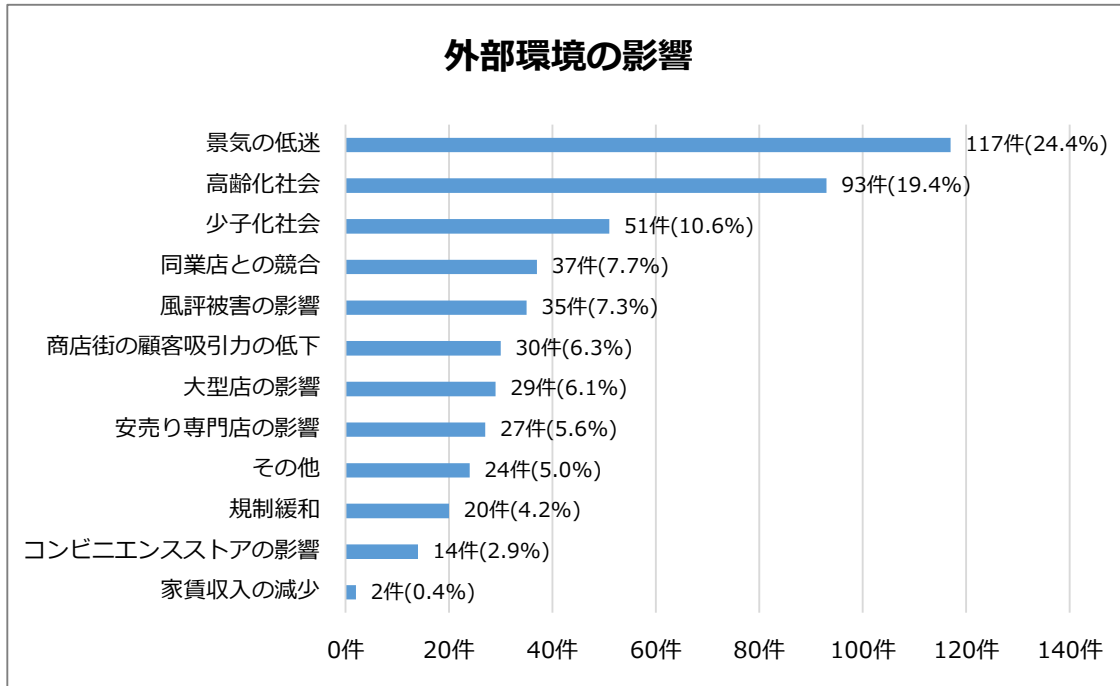
全業種において「増加した」との回答が6割を超えており、飲食業・宿泊業、サービス業においては、「増加した」との回答が7割を超えている。



シ 経営上の問題点について

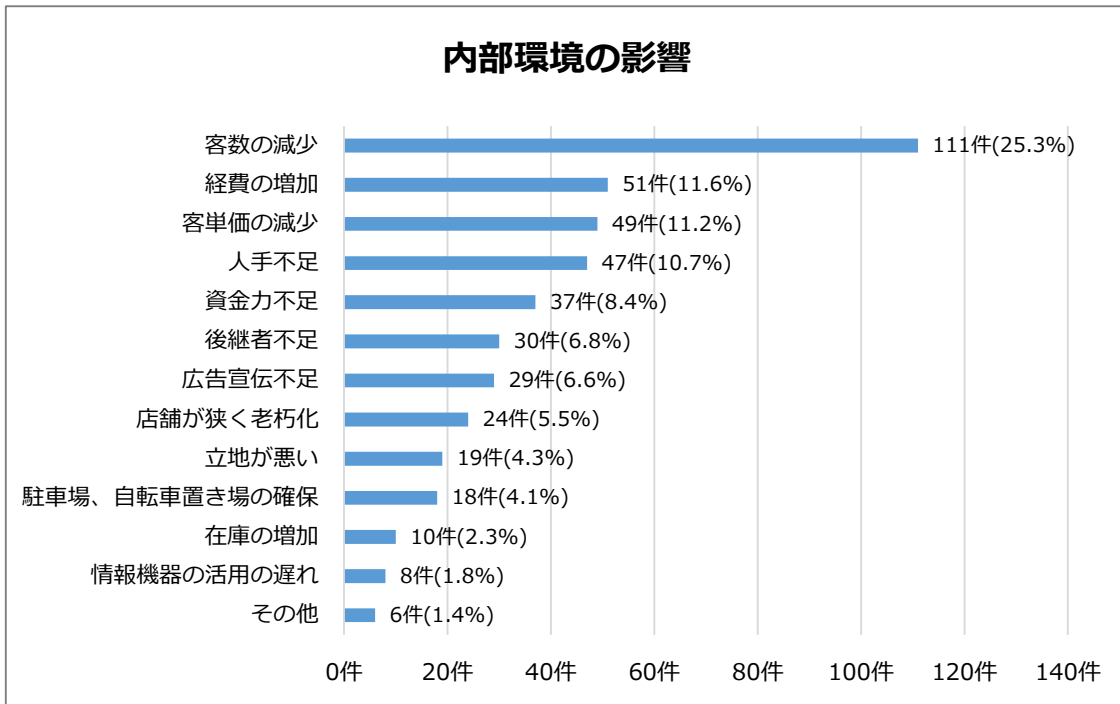
【外部環境】

「景気の低迷」が24.4%と最も多く、次いで「高齢化社会」が19.4%、「少子化社会」が10.6%という結果となった。



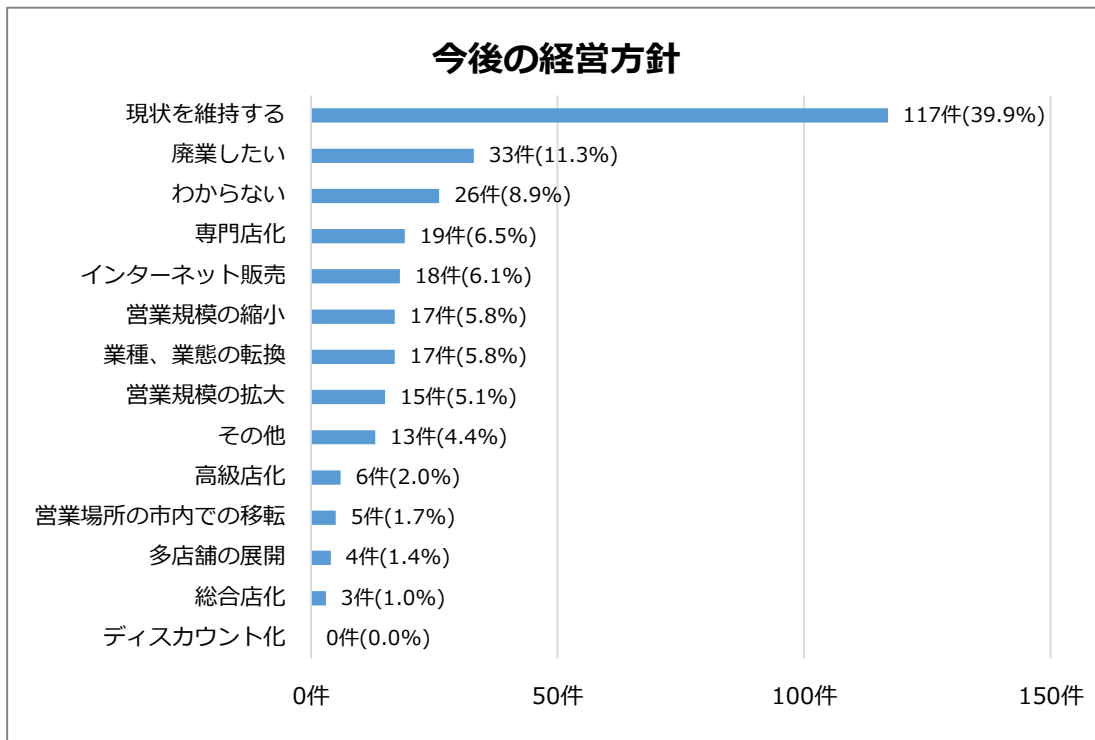
【内部環境】

「客数の減少」が25.3%と最も多く、次いで「経費の増加」が11.6%、「客単価の減少」が11.2%という結果となった。



ス 今後の経営方針について

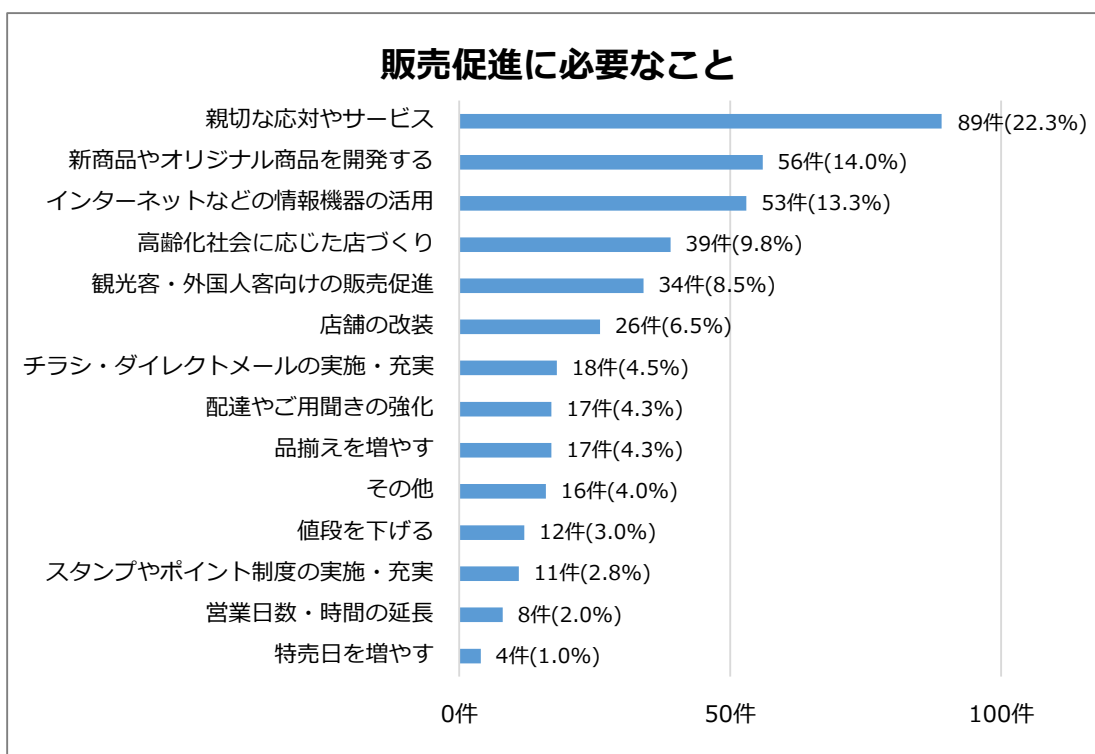
「現状を維持する」が39.9%と最も多く、次いで「廃業したい」が11.3%、「わからない」が8.9%という結果となった。



セ 販売促進に必要なこと

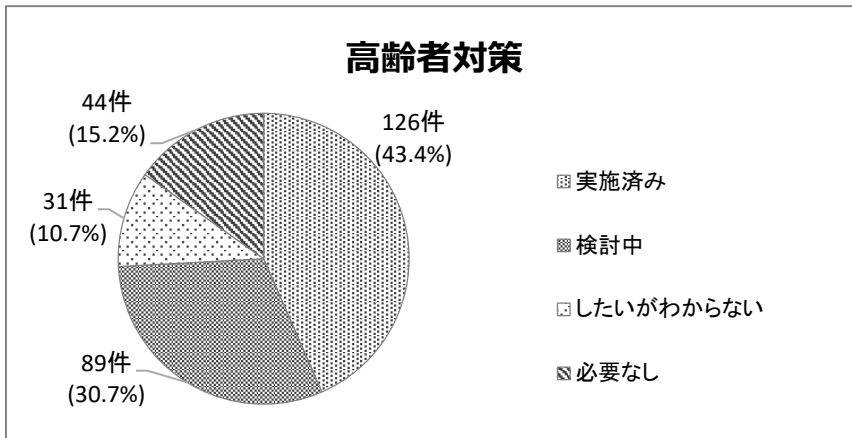
「親切な対応やサービス」が22.3%と最も多く、次いで「新商品やオリジナル商品を開発する」が14.0%、「インターネットなどの情報機器の活用」が13.3%という結果となった。

前回のアンケート結果と比べると、高齢者だけでなく若年層や観光客・外国人向けの販売促進が必要と考えている商業者が増加している。



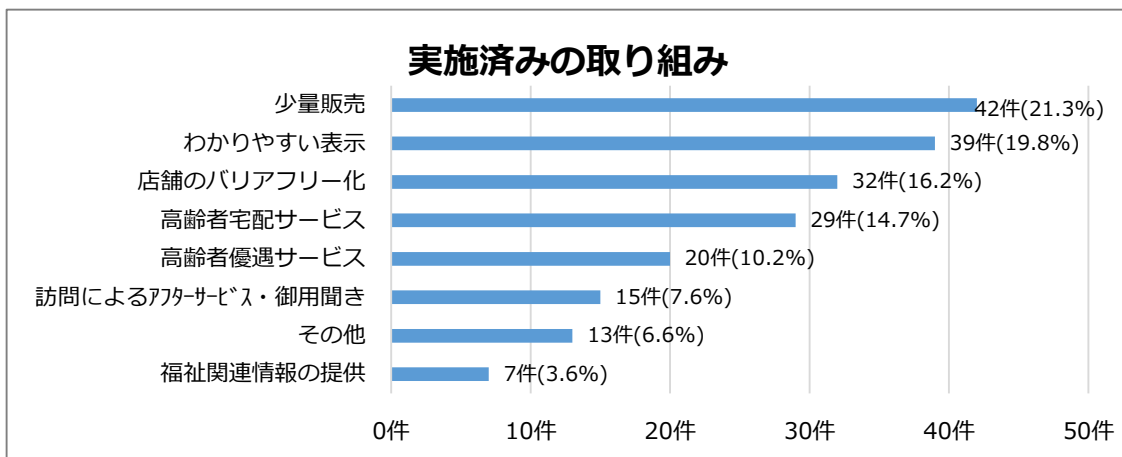
ソ 高齢者対策

「実施済み」が43.4%、「検討中」が30.7%、「したいがわからない」が10.7%となっており、8割の商業者が高齢者対策の必要性を感じている結果となった。



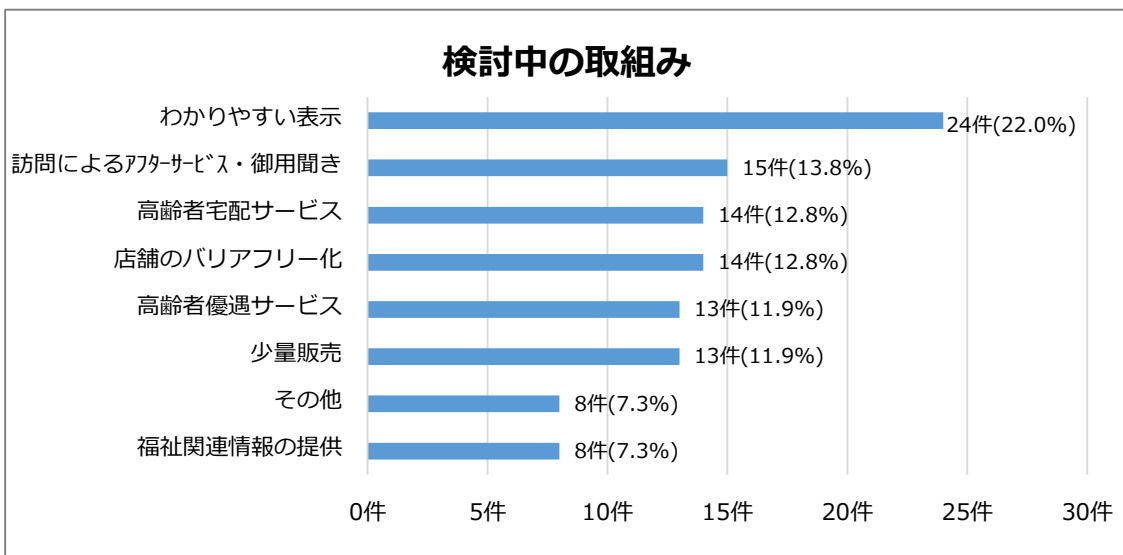
【実施済みの取り組み】

「少量販売」が21.3%、次いで「わかりやすい表示」が19.8%、「店舗のバリアフリー化」が16.2%という結果となった。



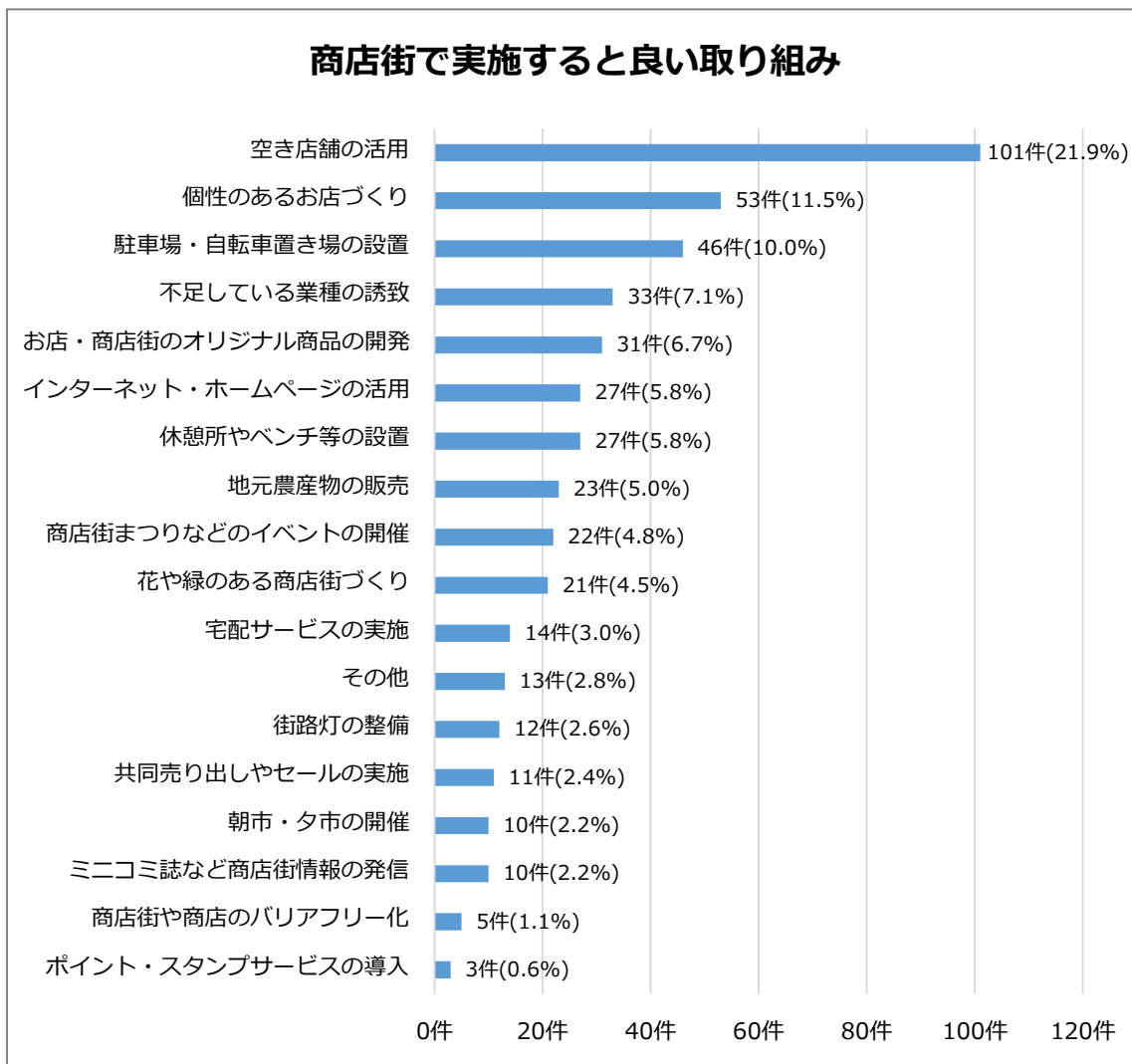
【検討中の取組み】

「わかりやすい表示」が22.0%、次いで「訪問によるアフターサービス・御用聞き」が13.8%という結果となった。



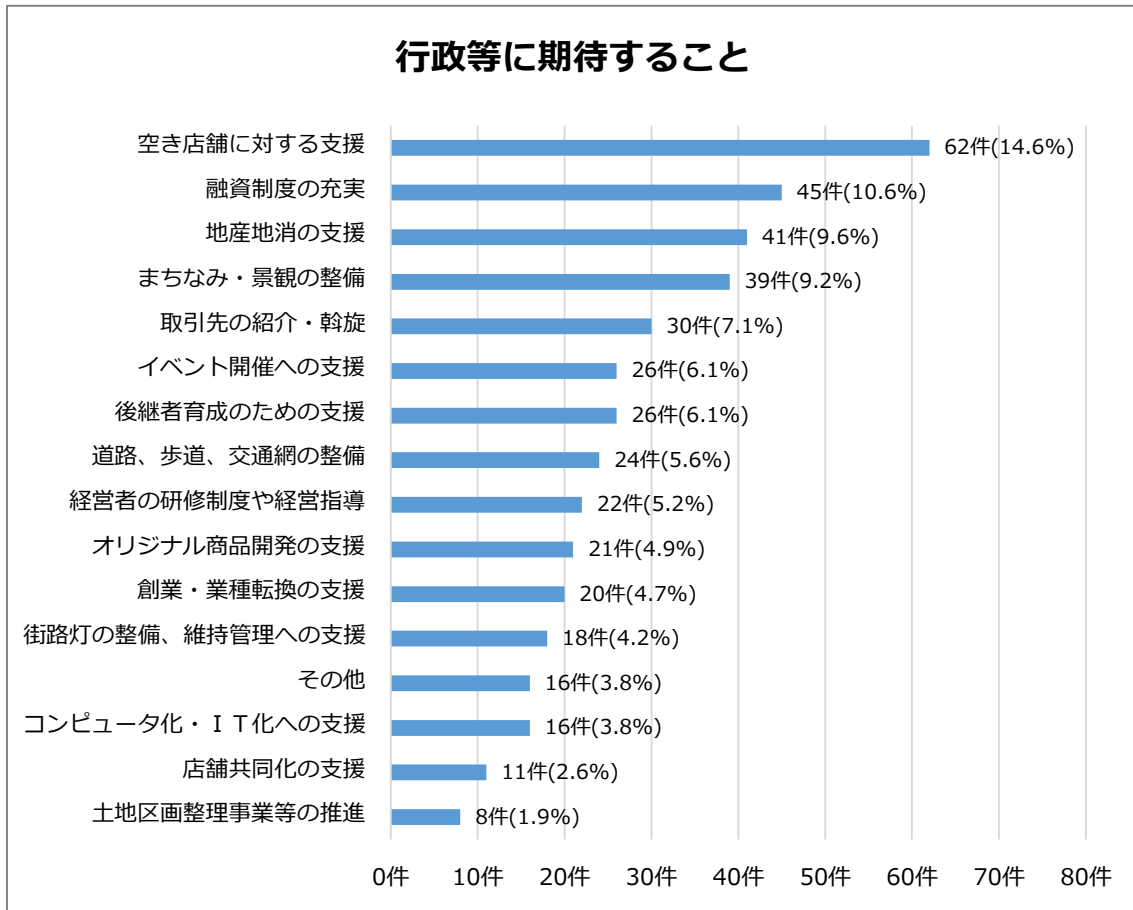
タ 商店街で実施すると良いと思う取り組み

「空き店舗の活用」が21.9%と最も多く、次いで「個性のあるお店づくり」が11.5%、「駐車場・自転車置き場の設置」が10.0%という結果となった。



テ 行政等に期待すること

「空き店舗に対する支援」が14.6%と最も多く、次いで「融資制度の充実」が10.6%、「地産地消の支援」が9.6%という結果となった。また、「まちなみ・景観の整備」や「取引先の紹介・斡旋」の回答も多かった。



商業者向けアンケート 自由記載

- ・市としてのコンセプトを明確に
- ・元気のあるまちづくりに取り組んでほしい
- ・喜多方市全体のブランド化を
- ・喜多方の個性を活かしてどこにもないまちづくりを
- ・ラーメン、イベント、歴史、文化財などで呼び込んだ観光客の足を商店街に向かわせるしくみが必要
- ・観光客を呼び込むために商店街にトイレを作ってほしい
- ・イベントだけでは集客できない
- ・プラザで開催しているイベントを商店街でできないか
- ・観光を目玉にしているので、列車の増便など喜多方駅が便利に使えるようにしてほしい
- ・市の商業施策は観光産業ばかり優先され他の商店には恩恵がない
- ・他地域のさびれた商店街のようになってしまう前に空き店舗対策を
- ・空き店舗を利用して、中・高校生が利用できる店を
- ・空き店舗の所有者と入居希望者をつなぐしくみづくりと情報発信
- ・平等な対応では効果が薄れるので、やる気のある商店が成長できるような支援を
- ・個人商店の廃業は大型店の進出の影響が大きい
- ・商店街に共同駐車場の整備を
- ・異業種間交流、同業種間の取組を強化する
- ・経営者の本音を受け止めてくれる場所がほしい
- ・風評被害もあるが、自分の力で創意工夫する努力をしたいと思う

2.喜多方市商業振興ビジョン策定アンケート調査結果

市民対象

喜多方市商業振興ビジョン策定のためのアンケート

喜多方市では、市内の商業の振興及び活性化を図る目的で、平成26年度に喜多方市商業振興ビジョンを策定しましたが、令和元年度で計画期間を満了することから、改定を予定しております。

このアンケート調査は、喜多方市商業振興ビジョン策定の参考とするために、市民の皆様を対象として、日常の買い物や市内の商店について感じていることなどをお聞きするものです。

つきましては、市内にお住まいの20歳以上の方々の中から、回答者を無作為に選ばせていただきましたので、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名で、結果に関しては統計資料としてのみ活用いたしますので、ご迷惑をおかけすることはありません。

令和元年7月

☆記入にあたってのお願い☆

1. アンケートは、宛名のご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、家族の方などが代わりにお答えください。
2. 問1から順番にお答えください。
なお、質問により「3つまで」等、回答の数が限られる場合がありますので、ご注意ください。
3. お答えの中で、「その他」を選んだとき、また指示のあるときは、できるだけ()に具体的な内容を記載してください。

☆アンケート票をご記入いただきましたら、同封の返信用封筒にて

令和元年7月31日（水）までにご返送ください。

※ このアンケート調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

喜多方市役所 産業部商工課 商工業・雇用・創業支援室
〒966-8601 喜多方市字御清水東7244番地2
電話 0241-24-5233

問1 あなた自身についてお聞きします。(それぞれの該当番号に○をつけてください。)

1 性別	① 男性 ② 女性
2 年齢	① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代 ⑤ 60歳代 ⑥ 70歳代 ⑦ 80歳代以上
3 住所	① 旧喜多方 ② 松山町 ③ 上三宮町 ④ 岩月町 ⑤ 関柴町 ⑥ 熊倉町 ⑦ 慶徳町 ⑧ 豊川町 ⑨ 熱塩加納町 ⑩ 塩川町 ⑪ 山都町 ⑫ 高郷町
4 市内での 居住年数	① 2年未満 ② 2～5年未満 ③ 5～10年未満 ④ 10～20年未満 ⑤ 20年以上
5 職業等	① 会社員・公務員・団体職員 ② 自営業 ③ 農林業 ④ パート・アルバイト ⑤ 主婦 ⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他 ()
6 世帯人数	① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人以上

問2 あなた、又はあなたの家族の買い物動向についてお聞きします。
下記の買い物品目ごとに、買い物店舗の利用頻度についてお答えください。
(店舗の区別ごとに、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください)

品目	店舗の区別	利用頻度 (先の店舗別にそれぞれ当てはまる項目に○をつけてください)				
		① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く 利用しない
(野菜、 生鮮食品、 果物、 肉、 魚など)	近所の個人商店 ・商店街の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く 利用しない
	市内のスーパー ・量販店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く 利用しない
	喜多方市外の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く 利用しない
	その他 ※具体的に ()	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く 利用しない

品目	店舗の区別	利用頻度 (先の店舗別にそれぞれ当てはまる項目に○をつけてください)				
		① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
生鮮食品以外の食料品	近所の個人商店 ・商店街の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	市内のスーパー ・量販店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	喜多方市外の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	その他 ※具体的に ()	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない

日用雑貨	近所の個人商店 ・商店街の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	市内のスーパー、 ホームセンター、 ドラッグストアなど の量販店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	喜多方市外の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	その他 ※具体的に ()	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない

衣類	近所の個人商店 ・商店街の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	市内のスーパー ・量販店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	喜多方市外の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	その他 ※具体的に ()	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない

品目	店舗の区別	利用頻度 (先の店舗別にそれぞれ当てはまる項目に○をつけてください)				
		① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
家電	近所の個人商店 ・商店街の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	市内のスーパー ・ホームセンター ・量販店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	喜多方市外の店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	その他 ※具体的に ()	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない

飲食 (外食)	近所や商店街の 飲食店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	市内の 飲食チェーン店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	喜多方市外の飲食店	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない
	その他 ※具体的に ()	① ほぼ毎日	② 週に数日	③ 月に数日	④ 年に数日	⑤ 全く利用しない

問3 日頃、よく利用する買い物場所に行く時、どのような交通機関を利用されますか。

① 自動車	② 自転車・バイク	③ 徒歩	④ 鉄道	⑤ バス・タクシー
⑥ デマンド交通				
⑦ その他 ()				

問4 日頃、よく利用するお店を選ぶ理由はどのようなことですか。(3つまで番号に○)

① 家から近い	② 通勤・通学路上にある	③ 品揃えが豊富	④ 品質がよい
⑤ お店に入りやすい	⑥ 一か所で買い物が済む	⑦ 値段が安い	
⑧ ポイント・スタンプサービスがある	⑨ 営業時間が長い		
⑩ 駐車場・自転車置き場がある	⑪ 昔からのなじみ	⑫ チラシなどの広告をみて	
⑬ 配達をしてくれる			
⑭ その他 ()			

問5 近所の個人商店や商店街について感じていることは何ですか。(いくつでも番号に○)

良いところ	良くないところ
① 品揃えが良い ② 品質が良い ③ まとめて買える ④ 値段が手ごろ ⑤ 店に入りやすい ⑥ ポイントサービスがある ⑦ 気に入った商品が手に入る ⑧ 接客・サービスが良い ⑨ 活気や魅力がある ⑩ その他 ()	① 品揃えが良くない ② 品質が良くない ③ 一か所でまとめて買えない ④ 値段が高い ⑤ 店に入りにくい ⑥ ポイントサービスがない ⑦ 営業時間が短い ⑧ 駐車場・自転車置き場がない ⑨ チラシや広告の宣伝がない ⑩ 接客・サービスが良くない ⑪ 活気や魅力に乏しい ⑫ その他 ()

問6 喜多方市内のスーパーなど大規模店について感じていることは何ですか。

(いくつでも番号に○)

良いところ	良くないところ
① 品揃えが良い ② 品質が良い ③ まとめて買える ④ 値段が手ごろ ⑤ 店に入りやすい ⑥ ポイントサービスがある ⑦ 駐車場があって行きやすい ⑧ 接客・サービスが良い ⑨ 活気や魅力がある ⑩ その他 ()	① 品揃えが良くない ② 品質が良くない ③ 商品がみつけづらい ④ 値段が高い ⑤ 店に入りにくい ⑥ 接客・サービスが良くない ⑦ 混み合う ⑧ 活気や魅力に乏しい ⑨ その他 ()

問7 近所の個人商店や商店街の利用が増えるにはどのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで番号に○)

① 不足している業種の誘致	② 空き店舗の活用
③ 駐車場・自転車置き場の設置	④ 休憩所やベンチ等の設置
⑤ 花や緑のある商店街づくり	⑥ 街路灯の整備
⑦ 共同売り出しやセールの実施	⑧ 個性のあるお店づくり
⑨ 商店街や商店のバリアフリー化	⑩ ポイント・スタンプサービスの導入
⑪ 宅配サービスの実施	⑫ ミニコミ誌など商店街情報の発信
⑬ インターネット・ホームページの活用	⑭ お店・商店街のオリジナル商品の開発
⑮ 商店街まつりなどのイベントの開催	⑯ 朝市・夕市の開催
⑰ 地元農産物の販売	
⑱ その他 ()	

問8 パソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネットを利用した購入動向についてお聞きします。(当てはまる番号1つに○)

① インターネットを利用してよく購入している。 ※主な購入品目を記入してください ()
② インターネットを利用してたまに購入している。 ※主な購入品目を記入してください ()
③ インターネットを利用して購入したことはないが関心はある。
④ インターネットを利用した購入に関心はない。
⑤ パソコン等がない、又はインターネットに接続していないので、インターネットを利用した購入はできない。
⑥ その他 ()

問9 喜多方市の商業の活性化のためにどのようなことに努力すべきだと思いますか。
(3つまで番号に○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 大型店の誘致 | ② 専門（食料品・日用品）スーパーの誘致 |
| ③ 集客の核となる専門店の誘致 | ④ 家族や友人と楽しめる飲食店の誘致 |
| ⑤ レストランや宴会場のあるホテルの誘致 | ⑥ 文化・福祉施設などの複合施設の整備 |
| ⑦ レジャー・スポーツ施設の誘致 | ⑧ 商店街・商店のバリアフリー化 |
| ⑨ 駐車場・自転車置き場の設置 | ⑩ 電線の地中化 |
| ⑪ 道路・交通網の整備 | ⑫ 歩道・交通規制 |
| ⑬ レトロ横丁などイベントの実施 | ⑭ 街並み・景観の整備 |
| ⑮ 案内版・標識の整備 | ⑯ 観光客（日本人）の増加と販売促進 |
| ⑰ 外国人観光客の増加と販売促進 | ⑱ インターネットによる販売促進 |
| ⑲ その他（ | ） |

問10 喜多方市の商業振興策についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。



以上でアンケートの設問は終了です。ご協力ありがとうございました。

喜多方市商業振興ビジョン・観光振興ビジョン策定のための 商業者アンケート調査

喜多方市では、市内の商業の振興及び活性化を図る目的で、平成26年度に喜多方市商業振興ビジョンを策定しましたが、令和元年度で計画期間を満了することから、改定を予定しております。

この商業者アンケート調査は、喜多方市商業振興ビジョン策定の参考とするために、市内でお店、事業所を経営されている商業者の皆様を対象に、経営の現況、経営上の問題点及び今後の経営方針などをお聞きするものです。

また本市にとって、商業と観光は密接な関係があることから、今後策定を予定している観光振興ビジョンの参考にするために、商業者のみなさまに観光に関するお考えもお聞きするものとなっております。

つきましては、ご多忙の折誠に恐縮ですが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名で、結果に関しては統計資料として活用いたしますので、ご迷惑をおかけするようなことはありません。

令和元年7月

喜多方市長

☆記入にあたってのお願い☆

1. 設問をよくお読みになり、1つまたは指示された数以内で選択肢を選んでください。
2. この調査は、令和元年7月1日現在を基準にしてください。
3. お答えの中で「その他」を選んだとき、また指示のあるときは、お手数ですが、
() 内になるべく具体的に内容をご記入ください。

☆アンケート票をご記入いただきましたら、同封の返信用封筒にて

令和元年7月31日（水）までにご返送ください。

※ このアンケート調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

喜多方市役所 〒966-8601 喜多方市字御清水東7244-2

【商業に関すること】 商工課商工業・雇用・創業支援室 電話 0241-24-5233

【観光に関すること】 観光交流課観光・物産振興室 電話 0241-24-5296

裏面に続く

9. 店舗の所有状況	① 店舗も土地も自分（会社）のもの ② 店舗は自分（会社）のものだが、土地は借りている ③ 借り店舗（土地も借りている） ④ 借り店舗（土地は自分のもの）
10. 来店が多い客層	① 20歳未満 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳以上 ⑧ わからない
11. 来店が多い性別	① 男性 ② 女性 ③ 同じくらい
12. 観光客の来店	① よく来る ② たまに来る ③ まったく来ない ④ わからない
13. 外国人の来店	① よく来る ② たまに来る ③ まったく来ない ④ わからない

問2 昨年（平成30年）1年間の経営の実績について、一昨年（平成29年）1年間と比較していかがですか。（それぞれ1つの番号に○）

1. 売上高	① 0～5%増 ② 5～10%増 ③ 10%を超える増 ④ 0～5%減 ⑤ 5～10%減 ⑥ 10%を超える減
2. 客数	① 0～5%増 ② 5～10%増 ③ 10%を超える増 ④ 0～5%減 ⑤ 5～10%減 ⑥ 10%を超える減
3. 客単価	① 0～5%増 ② 5～10%増 ③ 10%を超える増 ④ 0～5%減 ⑤ 5～10%減 ⑥ 10%を超える減
4. 経費	① 0～5%増 ② 5～10%増 ③ 10%を超える増 ④ 0～5%減 ⑤ 5～10%減 ⑥ 10%を超える減

問3 現在抱えている経営上の問題点は何ですか（それぞれ3つまで番号に○）

①外部環境

- | | | |
|-------------|-----------|-----------------|
| ① 景気の低迷 | ② 大型店の影響 | ③ コンビニエンスストアの影響 |
| ④ 安売り専門店の影響 | ⑤ 同業店との競合 | ⑥ 商店街の顧客吸引力の低下 |
| ⑦ 高齢化社会 | ⑧ 少子化社会 | ⑨ 家賃収入の減少 |
| ⑩ 規制緩和 | ⑪ 風評被害の影響 | |
| ⑫ その他（ | ） | |

②内部環境

- | | | |
|------------|----------|-----------------|
| ① 店舗が狭く老朽化 | ② 後継者不足 | ③ 立地が悪い |
| ④ 客数の減少 | ⑤ 客単価の減少 | ⑥ 人手不足 |
| ⑦ 資金力不足 | ⑧ 経費の増加 | ⑨ 情報機器の活用の遅れ |
| ⑩ 在庫の増加 | ⑪ 広告宣伝不足 | ⑫ 駐車場、自転車置き場の確保 |
| ⑬ その他（ | ） | |

問4 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。（いくつでも番号に○）

- | | | | |
|---------------|-------------|-----------|--------|
| ① 業種、業態の転換 | ② 専門店化 | ③ 総合店化 | ④ 高級店化 |
| ⑤ ディスカウント化 | ⑥ インターネット販売 | ⑦ 多店舗の展開 | |
| ⑧ 営業場所の市内での移転 | ⑨ 営業規模の拡大 | ⑩ 営業規模の縮小 | |
| ⑪ 現状を維持する | ⑫ 廃業したい | ⑬ わからない | |
| ⑭ その他（ | ） | | |

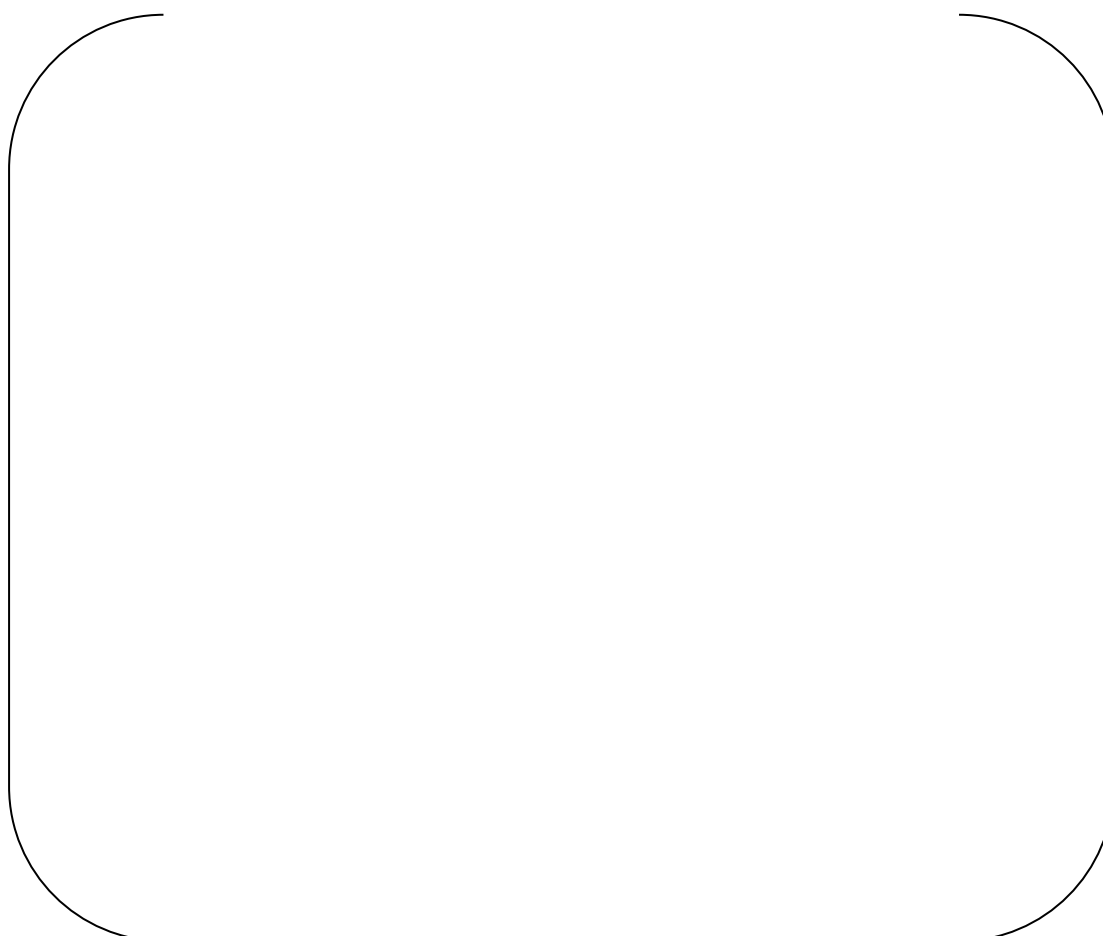
問5 販売促進のために必要と思うことは何ですか（3つまで番号に○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ① 特売日を増やす | ② 品揃えを増やす |
| ③ 新商品やオリジナル商品を開発する | ④ 営業日数・時間の延長 |
| ⑤ 値段を下げる | ⑥ 親切的な対応やサービス |
| ⑦ スタンプやポイント制度の実施・充実 | ⑧ チラシ・ダイレクトメールの実施・充実 |
| ⑨ 配達やご用聞きの強化 | ⑩ 高齢化社会に応じた店づくり |
| ⑪ 観光客・外国人客向けの販売促進 | ⑫ インターネットなどの情報機器の活用 |
| ⑬ 店舗の改装 | ⑭ その他（ |

問8 行政や商工会議所・商工会に対して期待する施策はありますか（3つまで○）

① 融資制度の充実	② 経営者の研修制度や経営指導
③ 後継者育成のための支援	④ 取引先の紹介・斡旋
⑤ 店舗共同化の支援	⑥ 空き店舗に対する支援
⑦ 創業・業種転換の支援	⑧ 道路、歩道、交通網の整備
⑨ コンピュータ化・IT化への支援	⑩ 土地区画整理事業等の推進
⑪ イベント開催への支援	⑫ まちなみ・景観の整備
⑬ 街路灯の整備、維持管理への支援	⑭ オリジナル商品開発の支援
⑮ 地産地消の支援	
⑯ その他（	）

問9 喜多方市の商業施策についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。



3. 策定に係る組織体制

喜多方市商業振興ビジョン策定検討会議 委員名簿

敬称略

NO.	委員名	団体名	職名
1	佐藤 富次郎	会津喜多方商工会議所	会頭
2	穴澤 竜也	きたかた商工会	経営指導員
3	冠木 紳一郎	喜多方観光物産協会	会長
4	田部 幹夫	協同組合喜多方ダイヤスタンプ	理事長
5	栗村 潔	塩川のれん商業協同組合	理事長
6	渡部 和昭	山都町スタンプ事業協同組合	理事長
7	皆川 一郎	生活協同組合 コープあいづ	執行役員 店舗事業本部長
8	青木 孝弘	公立大学法人 会津大学短期大学部	産業情報学科 准教授
9	吉田 哲治	喜多方市金融団	東邦銀行 喜多方支店長
10	遠藤 勝美	喜多方市老人クラブ連合会	副会長
11	五十嵐 明美	喜多方市女性団体連絡協議会	喜多方磐青の会 会長
12	小汲 康浩	喜多方市	産業部長

【事務局】

1	山口 和志	産業部商工課	課長
2	長谷川 仁	産業部商工課	課長補佐
3	佐藤 まゆみ	産業部商工課商工業・雇用・創業支援室	室長
4	五十嵐 健一	産業部商工課商工業・雇用・創業支援室	副主任主査
5	高橋 優平	産業部商工課商工業・雇用・創業支援室	主事

4. 策定の経過

令和元年

7月12日 アンケート調査の実施

・市民向けアンケート

20歳以上無作為抽出 1,200名に送付

・商業者向けアンケート

商工会議所、きたかた商工会の商業関係部会員 755名に送付

10月18日 商業振興ビジョン策定検討会議（第1回）

（1）商業振興ビジョンの改定にあたって

（2）喜多方市商業の現状について

（3）喜多方市の商業を取り巻く現状と課題について

10月31日 商業振興ビジョン策定に向けた商業者懇談会

会津喜多方商工会議所及びきたかた商工会商業関係部会

11月17日 商業振興ビジョン策定検討会議（第2回）

（1）喜多方市商業の現状と課題について

（2）商業振興ビジョンの方向性について

令和2年

1月27日～ 庁内関係課、商工団体等との調整

1月30日 商業振興ビジョン策定検討会議（第3回）

（1）商業振興ビジョンの具体的取り組みについて

（2）商業振興ビジョンの目標とする指標について

（3）商業振興ビジョンの推進体制と進行管理について

2月 7日 庁議

・商業振興ビジョン原案の概要について

2月14日 市議会全員協議会

・商業振興ビジョン原案の概要について

2月17日から3月10日 パブリックコメント募集

3月30日 決定

5. 策定検討会議設置要綱

喜多方市商業振興ビジョン策定検討会議設置要綱

(設置)

第1条 本市の商業の現状と課題を把握し、今後の商業振興の方針を定め、本市商業の活性化を図ることを目的として策定する喜多方市商業振興ビジョン（以下「振興ビジョン」という。）について、検討、協議及び調整等を行うため、喜多方市商業振興ビジョン策定検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項について検討、協議及び調整等を行うものとする。

- (1) 振興ビジョンの策定に関すること
- (2) 振興ビジョン策定のために必要な事項
- (3) その他検討会議が必要と認める事項

(組織)

第3条 検討会議は、別表に掲げる団体等の代表又は団体等が推薦する者（以下「構成員」という。）及び喜多方市産業部長（以下「産業部長」という。）をもって組織する。

(会議)

第4条 検討会議は、産業部長が招集し、これを主宰する。

- 2 検討会議は、必要があると認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見等を聴くことができる。

(庶務)

第5条 検討会議の庶務は、商工課商工業・雇用・創業支援室において処理する。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、産業部長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和元年7月22日から施行する。
- 2 この要綱は、振興ビジョンの策定が終了した時をもって廃止する。

別表（第3条関係）

No.	団体等名	摘要
1	会津喜多方商工会議所	商工関係団体
2	きたかた商工会	商工関係団体
3	喜多方観光物産協会	観光・物産関係団体
4	協同組合喜多方ダイヤスタンプ	小規模事業者
5	塩川のれん商業協同組合	小規模事業者
6	山都町スタンプ事業協同組合	小規模事業者
7	生活協同組合 コープあいづ	大規模事業者
8	公立大学法人 会津大学短期大学部	大学
9	喜多方市金融団	金融機関
10	喜多方市老人クラブ連合会	消費者（老人団体）
11	喜多方市女性団体連絡協議会	消費者（女性団体）



〒966-8601
福島県喜多方市字御清水東 7244 番地 2
産業部商工課 商工業・雇用・創業支援室

電話 (0241) 24-5233

FAX (0241) 25-7073

令和2年3月